Panasonic

取扱説明書

SD-Jukebox Ver. 6

カンタンモード編

SDオーディオ再生機器で音楽を楽しむ前に

必ずこの取扱説明書に従って、
SDメモリーカードに音楽を入れてください。

Windowsの基本操作やコンピューター、周辺機器の取り扱いについては、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■ この取扱説明書とSDオーディオ再生機器の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

MSC0160CD_J_ZA　　MS0906KH0

「SD-Jukebox」ご使用上のご注意

「SD-Jukebox」は音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。

- 「SD-Jukebox」は音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。
  暗号化された音楽データを別のフォルダーやドライブ、他のコンピューターに移動／複写して使用することはできません。
- ご使用のプロセッサーならびにハードディスクの固有情報を暗号化処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなる場合があります。

- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接／間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。
- MMC（MultiMediaCard）を使用することはできません。
- ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っていない音楽CDの再生/録音には対応していません。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**

🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

⚠注意

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところには置かない

誤って飲み込む恐れがあります。
万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

ユーザー登録のお願い

SD-Jukeboxのご使用に際して、必ずユーザー登録をしていただきますようお願いいたします。ユーザー登録は、商品サポート情報やバージョンアップ情報、新製品のお知らせ、またアフターサービスのためにも必要です。
インターネットの所定のホームページ上で登録してください。

● インターネット上で登録するには、

① SD-Jukeboxを起動後、画面上部の［ヘルプ］をクリックします。
② ［ユーザー登録］をクリックすると表示されるホームページの画面の内容に従ってユーザー登録を行ってください。

最新情報について

付属のCD-ROMのReadme.txtファイルには、SD-Jukeboxについての最新情報が掲載されています。あわせてご覧ください。
SD-Jukeboxの最新情報は、ホームページでもご覧いただけます。

① SD-Jukeboxを起動後、画面上部の［ヘルプ］をクリックします。
② ［サポートページへ］をクリックすると、SD-Jukeboxのホームページが表示されます。

ホームページアドレス（ユーザー登録など）
http://panasonic.jp/support/software/
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

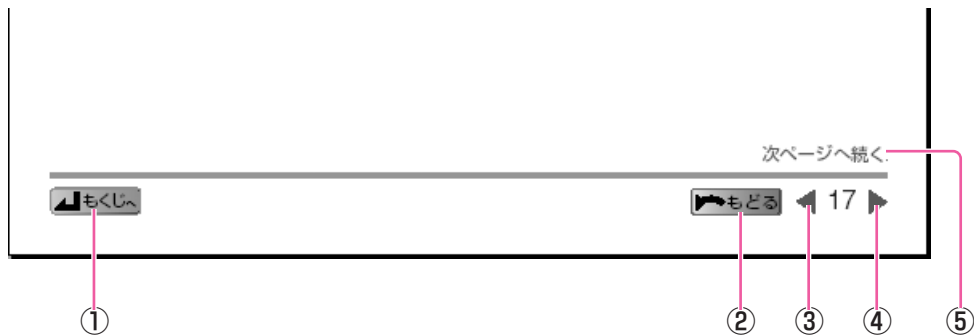
著作権保護に関する制限

- このソフトウェアをご使用いただくうえでは、著作権保護のための制限があります。
  - コピー制限情報が埋め込まれている場合、またはDVDオーディオ機器を使用して録音した音楽データの場合は、取り扱えないことがあります。
  - 著作権者やサービス事業者が音楽データの利用方法に関する条件を音楽データに付加している場合、この条件に従う必要があります。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 著作権保護に関する取り決めが今後、変更されたり新しい取り決めになったりした場合は、SD-Jukeboxの一部の機能が使えなくなる場合があります。この場合、SD-Jukeboxをアップグレードさせていただく予定です。アップグレードは有償となる場合があります。あらかじめご了承ください。

日付と時刻に関する制限

- 本ソフトウェアは、システム時刻が下記の範囲に設定されている場合でのみ動作します。
  1971年1月1日0時00分～2037年12月31日23時59分
- 本ソフトウェアを使用している途中で、システム時刻の変更はしないでください。
  使用中にシステム時刻を変更すると正常に動作しなくなる場合があります。
- 本ソフトウェアは、ファイルの作成日や更新日が下記の範囲外に設定されている場合には、正常に動作しないことがあります。
  1971年1月1日0時00分～2037年12月31日23時59分

この取扱説明書について

各ページの下には、ページを切り替えるボタンがあります。

① 「もくじ」ページに移動します。
② 直前に表示していた画面にもどります。
③ 前のページに移動します。
④ 次のページに移動します。
⑤ 「次ページへ続く」がある場合、クリックすると、次のページに移動します。

もくじ

準備

すぐに使う

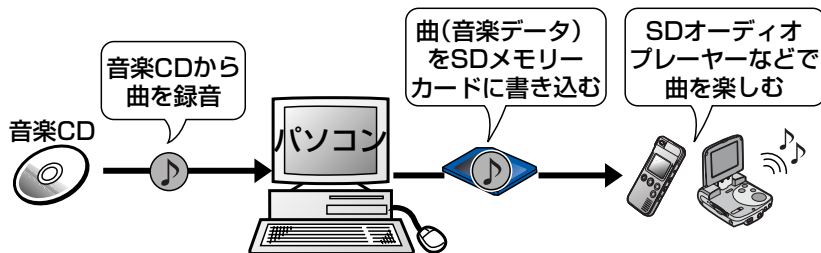
次ページへ続く

さらに使う

必要なときに

お使いになる前に

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは、音楽CDの曲をパソコンに録音して管理したり、録音した曲をSDメモリーカードに書き込んでSDオーディオプレーヤーなどのSDオーディオ再生機器（以降、「再生機器」と記載します。）で楽しむことのできるソフトウェアです。

SDメモリーカードが認識されないお客様へ

「SD-Jukebox」は著作権保護した音楽を取り扱うため、著作権保護対応でないSDメモリーカード用リーダーライターやSDメモリーカードではご利用になれません。
著作権保護未対応の場合「SD-Jukebox」はSDメモリーカードを認識いたしません。
また、パソコン内蔵のSDカードスロットの場合も同様です。
SDメモリーカードが認識されない場合、をクリックすると、診断ツール「SDメモリーカードヘルプ」が起動します。
「SDメモリーカードヘルプ」の内容に従って、接続の確認を行ってください。
当社製以外のリーダーライター等の著作権保護対応については、各メーカーに問い合わせてください。

必要なシステム構成

SD-Jukeboxをお使いいただくためには、以下のような性能を満たしたパソコンが必要です。

対応パソコン：下記対応のOS （日本語版）がプリインストールされたIBM PC/AT またはその互換機

対応OS(日本語版)：Microsoft® Windows® 2000 (Professional SP2/SP3/SP4)
Microsoft® Windows® XP (Home Edition/ProfessionalおよびSP1/SP2)

ハードウェア

CPU：　Intel Pentium® Ⅲ 500 MHz 以上
RAM：　256 MB 以上
ハードディスク：100 MB以上の空き容量
（Windowsのバージョンや音楽データにより、別途空き容量が必要です。）
ディスプレイ：　High Color（16 bit）以上
デスクトップ領域 800 × 600 以上(1024 x 768 以上を推奨)
サウンド：　Windows互換サウンドデバイス
ドライブ：　CD-ROMドライブ（デジタル録音対応　4倍速以上）
- インストールおよびCDの録音に必要
- IEEE1394で接続するCD-ROMドライブでは動作しません。
- 音楽CDの作成にはCD-R/RWドライブが必要

インターフェース：USB端子（SDメモリーカードの接続に必要）
（USBハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。）
その他：　インターネット接続環境（ブロードバンド環境を推奨）

必要なソフトウェア

DirectX® 8.1以降／Internet Explorer 6以降

次ページへ続く

お知らせ

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- Macintoshには対応していません。
- 前ページに記載している対応OS以外のWindows環境での動作は保証していません。
- OSのアップグレード環境での動作は保証していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- システム管理者権限（Administrator）のユーザーのみで使用可能です。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- 64ビットOS搭載のパソコンには対応していません。
- ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っていない音楽CDの再生/録音には対応していません。
- 他のソフトウェアが同時に起動している場合はこの限りではありません。
- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接/間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

以前のバージョンをお使いの場合

■「SD-JukeboxV1.x～V3.x」をご使用のお客様へ

SD-JukeboxV1.x～V3.xで作成した音楽データはSD-JukeboxV6ではご使用になれません。V1.x～V3.xで作成した音楽データは、それぞれSD-JukeboxV1.x～V3.xでご使用ください※。
(SD-JukeboxV6のインストール後もV1.x、V2.xまたはV3.xはそのままご使用いただけます※)

※ V1.xは、Windows 2000およびWindows XPでは使用できません。

■「SD-JukeboxV4.0」をご使用のお客様へ

旧データベース（Ver.4.0）がある場合、Ver.6の初回起動時に録音した曲を取り込みます。
確認の画面の［OK］をクリックしてください。
Ver.4.0で録音した曲が聞けるようになります。

■「SD-JukeboxV4.1」をご使用のお客様へ

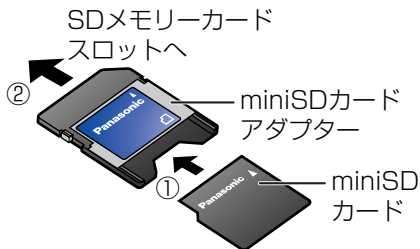
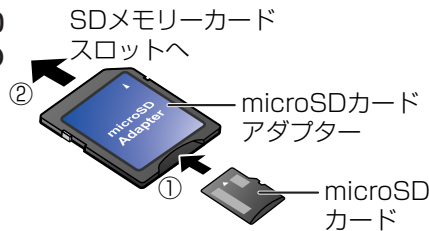
Ver.4.1で録音した曲は、そのまま聞けます。

■「SD-JukeboxV5.x」をご使用のお客様へ

Ver.5.xで録音した曲は、そのまま聞けます。

SDメモリーカードについて

SDメモリーカードについてのご注意

- この取扱説明書では、下記のカードのことを「SDメモリーカード」と記載しています。
  - SDメモリーカード（8 MB～2 GB）
  - SDHCメモリーカード（4 GBまで）
  - miniSDカード
  - microSDカード
- 利用可能なSDメモリーカードは以下の通りです。
  8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB、4 GB(SDHC)
  ※ Panasonic製SDメモリーカードでの確認結果であり、各社のカード全てでの動作を保証するものではありません。詳細については、以下のホームページを確認してください。
  http://panasonic.jp/support/audio/sd/
- SDメモリーカード/miniSDカード/microSDカードの使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- miniSDカードまたはmicroSDカードを、SDメモリーカード対応機器で使用する場合は、以下の点について注意してください。
  - 専用のカードアダプターに必ず装着してください。
  - miniSDカードまたはmicroSDカードの向きや裏表を確認してからカードアダプターに装着してください。
  - 使用する際には、必ずカードアダプターごと抜き差ししてください。カードアダプターをスロット内に残さないでください。

- 4 GB以上のSDHCメモリーカードは、SDHCに対応したSDカードリーダーライターを使用しないと認識できません。

■ メモリーカードを破棄／譲渡するときのお願い

本ソフトウェアやパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SDメモリーカードの接続

お使いの再生機器または、SDカードリーダーライターをパソコンに接続し、SDメモリーカードを取り付けてください。
再生機器についての詳細は、再生機器の取扱説明書をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れて、Windowsを起動する

2 再生機器またはSDカードリーダーライターをパソコンに接続する

Windowsのエクスプローラーなどで、再生機器またはSDカードリーダーライターが認識されていることを確認してください。（表示されない場合 ☞ 94ページ）

3 SDメモリーカードの方向を確認して、再生機器またはSDカードリーダーライターに取り付ける

SDメモリーカードを逆向きに取り付けると、再生機器またはSDカードリーダーライターやSDメモリーカードが破損する場合があります。

お願い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

お知らせ

- 以下の場合、SDカードリーダーライターの動作は保証しません。
  - SDカードリーダーライターと他のSDメモリーカード専用アダプターを接続している場合
  - USBハブおよびUSB延長ケーブルをお使いの場合
- SD-Jukebox でSDメモリーカードへの書き込みを行うには、セキュア対応(著作権保護機能)の再生機器またはSDカードリーダーライターが必要です。
  当社製以外の再生機器またはSDカードリーダーライターでの動作は保証しません。
- 当社製のSDカードリーダーライターには、以下のものがあります。（2006年6月30日現在）
  - SDメモリーカード用USBリーダーライター
    BN-SDCEAD、BN-SDCJP3
    BN-SDCGP3（※ ファームが最新でない場合は、アップデートしてください。
    http://panasonic.jp/support/p3/memory/download/index.html）
  - SDメモリーカード用PCカードアダプター
    BN-SDAAP3B、BN-SDMAAP3、BN-SDAGP3、BN-SDDAP3、BN-SDDBP3

※ 生産終了したものについては、記載していない場合があります。

SDメモリーカードを取り外す

① 再生機器またはSDカードリーダーライターが、SDメモリーカードにアクセスしていないことを確認する
② ［マイコンピュータ］をダブルクリックし、SDメモリーカードを示す［リムーバブルディスク］のアイコンを右クリックする
③ ［取り出し］をクリックする
④ SDメモリーカードを取り外す

SDメモリーカードのデータを保護するために

SD-Jukeboxが起動している間は、以下のことをしないでください。

- 再生機器またはSDカードリーダーライターの取り付け／取り外し
- SD-JukeboxやWindowsの強制終了
- パソコンの強制オフ（コンセントから電源コードを抜くなど）

また、SD-Jukeboxが完全に起動するまでの間と、再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードの抜き差しをしないでください。SDメモリーカードの内部が破損したり、データが壊れたりする恐れがあります。

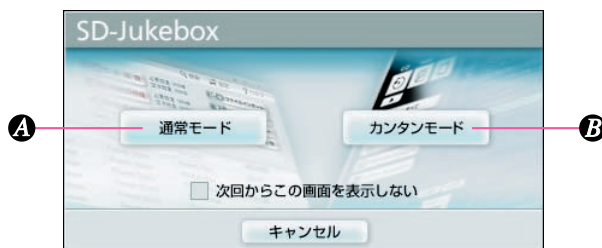
- ノートパソコンの場合は必ずACアダプターをお使いください。
（操作の途中で電源が切れると、データの破損やソフトウェアが正しく動作しなくなることがあります。）
- 書き込んだ後はSDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」にしておくことをおすすめします。新たに書き込みをするときには解除してください。

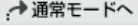
Windowsのエクスプローラーに関する制限

SDメモリーカードはパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラーで外部ドライブ（Dドライブなど）として表示されます。
Windowsのエクスプローラーを使って、SDメモリーカードの音楽データやフォルダーの移動、名前変更、削除、圧縮、フォーマットなどをしないでください。音楽データが再生できなくなります。必ずこのソフトウェアで操作してください。

起動する

● デスクトップの SD-Jukebox V6 アイコンをダブルクリックする

起動画面が表示されます。

A 通常モード をクリックすると、「通常モード」で起動します。

「通常モード」については、取扱説明書（PDFファイル）の「通常モード編」をご覧ください。

B カンタンモード をクリックすると、「カンタンモード」で起動します。

次ページへ続く

お知らせ

- アイコンが表示されていない場合は、「スタート」メニューから「すべてのプログラム（または「プログラム」)」→「Panasonic」→「SD-JukeboxV6」→「SD-JukeboxV6」の順にクリックしてください。
- SD-Jukeboxを起動しているときは、パソコンなど使用する機器の省電力機能をオフにしておくことをおすすめします。
- 「次回からこの画面を表示しない」にチェックマークを付けると、起動画面は表示されなくなります。
  再度表示したい場合は、〈メイン画面〉上部の［設定］から下記の画面を表示し、「起動画面を表示しない」のチェックマークを外します。
  – 〈簡単設定〉画面（☞71ページ）
  – 〈詳細設定〉画面－「一般」（☞72ページ）
- 初回起動時に、モジュールのダウンロードを行う場合があります。確認の画面の指示に従って、ダウンロードを実行してください。
- 起動後、「カンタンモード」から「通常モード」に切り替えるには、画面右上のボタン 通常モードへ をクリックします。
- 曲の再生中は、モードの切り替えはできません。曲を一時停止して、切り替えをしてください。

終了する

● **画面右上の［×］をクリックする**
または 終了 をクリックする

バージョン番号の確認

SD-Jukeboxのバージョンについて

バージョンの確認は、SD-Jukebox を起動した後、画面右上の［ヘルプ］ボタンをクリックし、［バージョン情報］をクリックします。
〈バージョン情報〉画面を閉じるには、〈バージョン情報〉画面をクリックします。

音楽CDをパソコンに録音する

お願い

録音中にはCDの取り出しや、SDメモリーカードの取り付け／取り外しをしないでください。

1 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

別のソフトウェアで自動的に再生が始まった場合（CD-EXTRAや自動再生機能を持ったソフトウェアなど）は、終了してください。

2 をクリックする

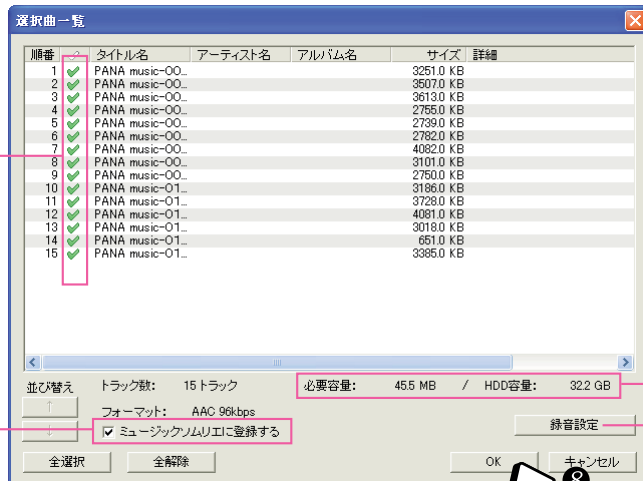
- 選んだドライブの音楽CDの内容が「曲リスト」に表示されます。
- 複数のCD-ROMドライブを接続している場合、をクリックするとドライブを選択するメニューが表示されます。録音する音楽CDを入れたドライブを選びます。

3 録音する曲に☑(チェックマーク)を付ける

チェックマークが付いた曲が録音されます。（クリックしてチェックマークを外すと、録音されません。）

次ページへ続く

❹ CD ▶ HDD をクリックする

〈選択曲一覧〉画面が表示され、「曲リスト」で☑(チェックマーク)を付けた曲が表示されます。

❺ 録音する曲に ✔(チェックマーク)を付ける

- 録音する曲を確認してください。チェックマークが付いた曲が録音されます。(クリックしてチェックマークを外すと、録音されません。)
- 英会話、落語、効果音など、音楽以外のものを録音するときは「ミュージックソムリエに登録する」のチェックマークを外してください。(☞41ページ)

❻「HDD」の空き容量を確認する

❼ 必要に応じて、録音形式と音質を変更する(☞75ページ)

❽ [OK]ボタンをクリックする

- 録音が始まります。
- 録音を途中でやめるには、〈メイン画面〉中央の キャンセル をクリックします。

次ページへ続く

お知らせ

- **Light Edition では、MP3 形式への録音ができません。**
- CD-RおよびCD-RWからの録音は保証しません。
- CD TEXTに対応したCDを録音する場合は、CDに記録されているアーティスト名やタイトル情報が自動的に取得されます。
  ただし、お使いのパソコンのCD-ROMドライブがCD TEXTに対応している必要があります。
- 手順❹のとき、CD ▶ SD をクリックすると音楽CDからSDメモリーカードへ録音ができます。音楽CDからSDメモリーカードへ曲を書き込む場合、いったん「HDD」に曲を録音した後、SDメモリーカードへ書き込みます。

CDDBについて

- CDDBに楽曲情報が登録されている場合は、タイトル情報やアーティスト情報などが自動的に取得できます。
- CDDB機能を利用するには、各サービスプロバイダーとの契約、インターネットへの接続環境の設定が必要です。
  接続環境を設定したうえ、SD-Jukeboxの〈詳細設定〉画面の「CD録音／インポート」で「CDデータベースの詳細設定」を行ってください。（☞75、79ページ）
- 情報が取得できない場合、タイトルはベースファイル名に従って付けられます。（☞73ページ）
  （アーティスト情報は自動では入力されません。）
  タイトルをクリックすると、タイトル名の変更ができます。

自動CD録音について

SD-Jukeboxが起動した後、音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れると、自動的に全曲録音を開始することができます。
自動CD録音を行う場合、〈簡単設定〉画面（☞71ページ）または〈詳細設定〉画面ー「CD録音／インポート」（☞75ページ）の「CDが挿入されたら自動的に録音を開始する」にチェックマークを付けてください。

お知らせ

パソコンの環境によっては、自動CD録音ができない場合があります。
その場合は、「音楽CDをパソコンに録音する（☞18ページ）」の手順でCD録音を行ってください。

パソコンで聞く

CD、パソコン、SDメモリーカード内の曲を聞くことができます。
ここでは、パソコン内(HDD)の曲を聞く手順を説明します。

お願い

CDやSDメモリーカードの再生中は、CDやSDメモリーカードを取り出したり、CD-ROMドライブのトレイを開けたりしないでください。

❶ をクリックする

「HDD」内の全ての曲が表示されます。

❷「曲リスト」の再生したい曲を選ぶ

❸ ▶ または ザッピング をクリックする

- ザッピング をクリックすると、選んだ曲の特徴部分の再生（ザッピング再生）ができます。詳しくは42ページを参照してください。
- 再生したい曲をダブルクリックすると、その曲からの再生が始まります。

次ページへ続く

お知らせ

- SDメモリーカード内の曲を再生する場合、選んだ再生機器の種類によっては、「アーティストプレイリスト」、「アルバムプレイリスト」、「印象プレイリスト」がユーザープレイリストとして書き込まれていることがあります。
- SDメモリーカードをパソコンに接続する方法は、14ページを参照してください。
- ミュージックソムリエに登録されている曲は、「曲リスト」のタイトル左側に音符付きマークが表示されます。
- 暗号化されている曲は、「曲リスト」のタイトル左側に鍵付きマークが表示されます。
- 音楽再生時のボタン操作については、57ページを参照してください。
- 曲の再生中は、モードの切り替えはできません。
- 携帯電話を使ってダウンロードした音楽コンテンツは、パソコンで再生することができます。
  対応機種に関しては、〈サポートページ〉をご覧ください。対応機種は、SD-Jukeboxの［ヘルプ］メニューの［SDオーディオ対応機器一覧］で確認ができます。
- 音楽配信サービスについては、45ページを参照してください。

プレイリストを選んで聞く

特定のアーティスト、アルバムなどの「プレイリスト」を選んで聞くことができます。
ここでは、「HDD」内のプレイリストを選ぶ手順を説明します。

お知らせ

「プレイリスト」については、35ページを参照してください。

❶ [アーティスト] をクリックする

「アーティスト選択」画面が表示されます。

❷ アーティスト名をクリックし、[決定] をクリックする

〈アルバム選択〉画面が表示されます。

❸ アルバム名をクリックし、[決定] をクリックする

選んだアーティストのアルバムの曲のみが「曲リスト」に表示されます。

次ページへ続く

❹「曲リスト」の再生したい曲を選ぶ

❺ ▶ または ザッピング をクリックする

お知らせ

SDメモリーカード内の［アーティストプレイリスト］、「アルバムプレイリスト」、「印象プレイリスト」は、再生機器の種類によっては、ユーザープレイリストとして書き込まれることがあります。

SDメモリーカードへ好みの曲を選んで書き込む

好みの曲を選んで、SDメモリーカードへ書き込みます。

お 願 い

- 著作権保護未対応のSDメモリーカード用リーダーライターやSDメモリーカードではSDメモリーカードを認識しません。
  また、パソコン内蔵のSD カードスロットの場合も同様です。
  SDメモリーカードが認識されない場合、[アイコン]をクリックすると、診断ツール「SDメモリーカードヘルプ」が起動します。
  「SDメモリーカードヘルプ」の内容に従って、接続の確認を行ってください。
- 再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

1 SDメモリーカードを接続する（☞14ページ）

2 [アイコン]をクリックする

「HDD」内の全ての曲が表示されます。

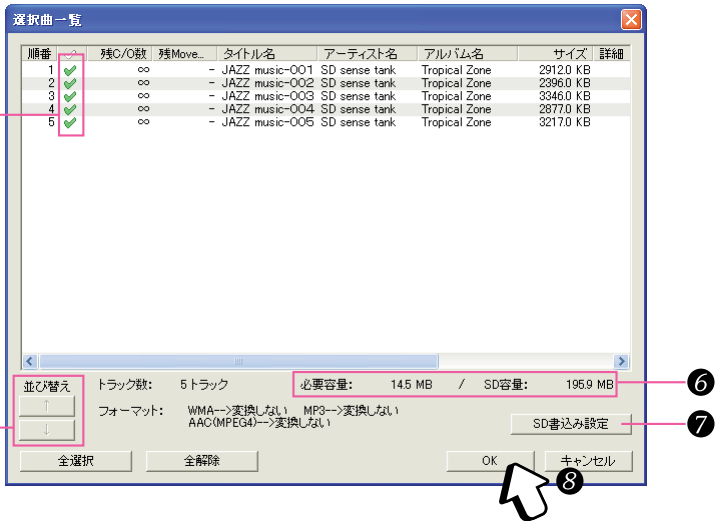
3 SDメモリーカードへ書き込みたい曲に☑（チェックマーク）を付ける

チェックマークが付いた曲がSDメモリーカードに書き込まれます。

次ページへ続く

❹ HDD ▶ SD をクリックする

- 〈選択曲一覧〉画面が表示され、「曲リスト」で☑(チェックマーク)を付けた曲が表示されます。
- 複数のSDメモリーカードを接続している場合、HDD ▶ SD をクリックするとドライブを選択するメニューが表示されます。書き込みを行うSDメモリーカードのドライブを選びます。

曲を選び、このボタンをクリックすると、曲の順番を変えることができます。曲をドラッグ＆ドロップしても順番を変えることができます。

❺ SDメモリーカードへ書き込みたい曲に✔(チェックマーク)を付ける

SDメモリーカードへ書き込みたい曲を確認してください。チェックマークが付いた曲がSDメモリーカードへ書き込まれます。(クリックしてチェックマークを外すと、SDメモリーカードに書き込まれません。)

❻ 書き込む曲の容量とSDメモリーカードの空き容量を確認する

❼ 必要に応じて、SD書き込みの設定を変更する (☞83ページ)

❽ [OK]ボタンをクリックする

- SDメモリーカードへの書き込みが始まります。
- 書き込みを途中でやめるには、〈メイン画面〉中央の キャンセル をクリックします。

次ページへ続く

お知らせ

- 音楽CDから直接SDメモリーカードへ曲を書き込むこともできます。
  音楽CD内の書き込みたい曲に☑を付け、[CD ▶ SD]をクリックします。詳しい方法については、18ページを参照してください。
- アーティストプレイリスト、アルバムプレイリストを自動的に書き出すことができます。〈詳細設定〉画面－「SD」の「プレイリストの自動作成設定」で設定します。（☞28ページ）
- 曲に添付されている静止画をSDメモリーカードに書き込むかは選んでいる再生機器によって異なります。詳しい内容については、84ページを参照してください。
  静止画の添付は、「通常モード」で行ってください。
- お使いの再生機器に対応しているデータ形式を確認してSDメモリーカードへ書き込んでください。
  SDメモリーカードへ書き込み可能なデータ形式については、85ページを参照してください。
- 音楽コンテンツの種類によっては、SDメモリーカードに書き込める回数が決まっているものがあります。
  書き込める回数は〈選択曲一覧〉画面の「残C/O数」欄で確認できます。（☞26ページ）
  また、「通常モード」の〈プロパティ〉画面の「コンテンツ情報」でも確認できます。
- SDメモリーカードに書き込むとき、ファイル形式を変換することができます。詳しくは83ページを参照してください。

プレイリストを自動的に作成する

SDメモリーカードに書き込むとき、自動的にアーティストプレイリスト、アルバムプレイリストを作成するように設定できます。

お願い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

お知らせ

プレイリストについては、35ページを参照してください。

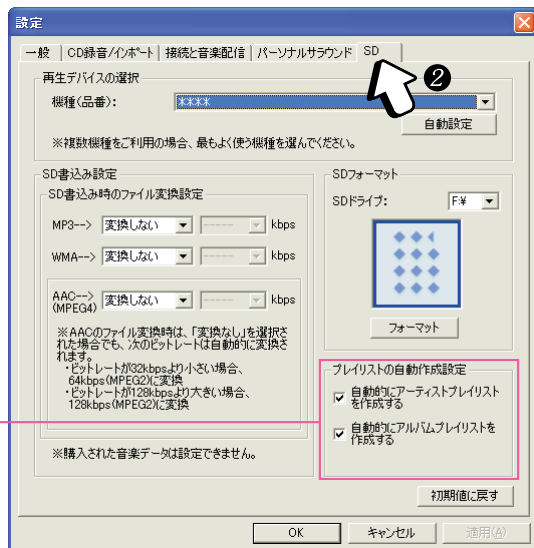
❶ **画面右上の［設定］から［詳細設定］をクリックする**

❷ **〈詳細設定〉画面-「SD」をクリックする**

❸ **「プレイリストの自動作成設定」を設定する**

❹ **「SDメモリーカードへ好みの曲を選んで書き込む」（☞25ページ）の手順でSDメモリーカードへ曲を書き込む**

お知らせ

- お使いの再生機器に対応しているデータ形式を確認してSDメモリーカードへ書き込んでください。
- SDメモリーカードに書き込めるプレイリスト数と曲数には制限があります。
  – プレイリスト数／最大99
  – 1プレイリストあたりの曲数／最大99
  – SDメモリーカード1 枚あたりの曲数／最大999
- 同じ曲を重複してSDメモリーカードへ書き込むことはできません。
- 再生機器の種類によっては、［アーティストプレイリスト］、「アルバムプレイリスト」がユーザープレイリストとして書き込まれることがあります。

SDメモリーカードから曲を削除する

SDメモリーカードから曲を削除します。

お願い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

1 SDメモリーカードを接続する

2 [SD]をクリックする

- 「曲リスト」に曲が表示されます。
- 複数のSDメモリーカードを接続している場合、[SD]をクリックするとドライブを選択するメニューが表示されます。曲の削除を行うSDメモリーカードのドライブを選びます。

3 削除する曲をクリックする

4 [ファイル削除]をクリックする

確認の画面が表示されます。

5 [はい]ボタンをクリックする

- 「HDD」内に元の曲がある場合は、SDメモリーカードの曲は、「HDD」に戻されます。
- 「HDD」内に元の曲がない場合、SDメモリーカードの曲は削除されます。

次ページへ続く

SDメモリーカード上の重複した曲を削除する

曲を削除する際、プレイリストを指定することができません。
曲を削除した後、曲を残しておきたいプレイリストにその曲を再登録する必要があります。

お願い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

❶ **SDメモリーカードを接続する**

❷ **削除する曲がどのプレイリストにあるか確認しておく**

❸ **をクリックし、ALL 全曲 をクリックする**

❹ **重複している曲をクリックし、ファイル削除 をクリックする**

❺ **ユーザープレイリストに、曲を追加する**（☞37ページ）

お知らせ

プレイリストに1曲しかなかった場合は、その曲を削除すると、そのプレイリストも削除されます。

音楽データをSD-Jukeboxに取り込む

ハードディスクに保存されているMP3、WMA、WAV、AAC(MPEG4)形式ファイルをSD-Jukeboxに取り込みます。

フォルダーごとインポートする

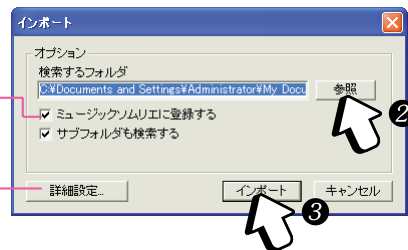
1 ［ファイルインポート］をクリックする

〈インポート〉画面が表示されます。

2 ［参照］ボタンをクリックし、取り込む音楽データ(ファイル)を保存しているフォルダーを選んで［OK］をクリックする

〈インポート〉画面

チェックマークを外すと、取り込んだ曲はミュージックソムリエに登録されません。

必要に応じて取り込みの方法と音質を選ぶことができます。（☞ 75ページ）

3 ［インポート］ボタンをクリックする

- 〈進行状況〉画面が表示され、取り込みが始まります。（☞ 32ページ）
- フォルダー内にあるAudioコンテンツ（MP3形式、WMA形式、WAV形式、AAC(MPEG4)形式の音楽データ）がすべて取り込まれます。
- インポートを途中でやめるには、〈進行状況〉画面の［キャンセル］ボタンをクリックします。

次ページへ続く

音楽データをSD-Jukeboxに取り込む

お知らせ

〈進行状況〉画面

- 〈進行状況〉画面にインポート結果が表示されます。
  - ✔：正常に曲のインポートが終了、またはすでに曲がインポート済みの場合に表示されます。インポート済の場合、「詳細」欄に「インポート済み」が表示されます。
  - ✖：曲のインポートが失敗した場合に表示されます。
- コンテンツ保護（著作権保護）された音楽データ（ファイル）は取り込むことができません。
- 音楽データ（ファイル）を取り込むときに、SD-Jukeboxがサポートしている文字情報が音楽データに含まれている場合は、そのまま「曲リスト」に表示されます。
  ただし、文字情報がない場合やSD-Jukebox がサポートしていない文字情報の場合は、音楽データのファイル名をタイトルとして表示します。
- 音楽データ（ファイル）を取り込むときに、音楽データに静止画が含まれている場合は、静止画も取り込みます。取り込んだ静止画は、別ファイルとして管理されます。
  音楽データ（ファイル）によっては、静止画を取り込めない場合があります。
- 取り込んだデータがSDメモリーカードに書き込めない場合があります。
  SDメモリーカードに書き込み可能なデータ形式については、85ページを参照してください。
- 下記のAAC(MPEG4)形式ファイルは、インポートできません。
  - モノラル録音データ
  - サンプリングレート（サンプリング周波数）が、下記の数値以外のもの。
    16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- すべてのデータ形式の動作を保証するものではありません。

編集する

「HDD」で編集します。

「コンテンツ情報」を編集する

曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名を変更します。

1 **をクリックする**

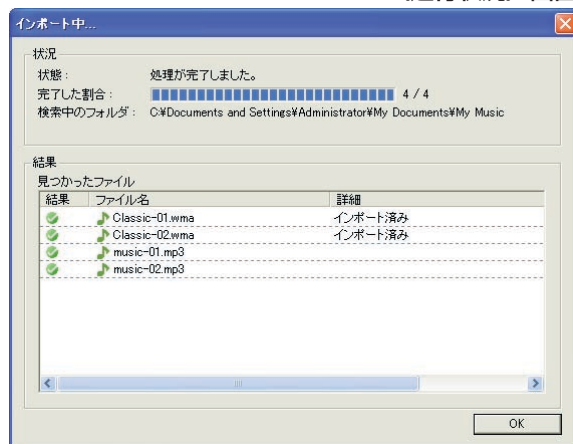
「曲リスト」に「HDD」内の全ての曲が表示されます。

2 **変更したい曲の変更する箇所をクリックする**

クリックした箇所が反転します。

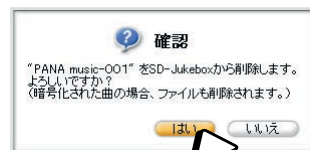
3 **曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名を変更する**

お知らせ

- SDメモリーカード内の「コンテンツ情報」を変更することはできません。
- 入力できる文字数は以下の通りです。
  – 「タイトル」、「アーティスト」、「アルバム」60文字（全角／半角）
- 静止画の添付は、「通常モード」で行ってください。
- CD TEXTに対応した音楽CDから録音した場合、CDに記録されている情報が、入力されます。

曲を削除する

❶ 削除する曲をクリックする

❷ ファイル削除 をクリックする

確認の画面が表示されます。

❸ [はい]ボタンをクリックする

暗号化されている曲は、パソコン内の音楽データそのものが消去されます。

お知らせ

- 暗号化されている曲は、「曲リスト」のタイトル左側に鍵付きマークが表示されます。
  また、曲の暗号化については、「通常モード」の下記の場所でも確認できます。
  – 〈プロパティ〉画面の「暗号化」欄
  – 「曲リスト」の項目欄の「暗号あり/なし」欄

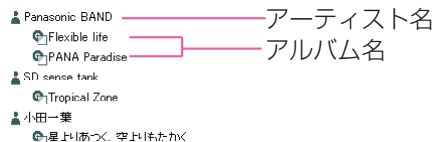
プレイリスト

プレイリストについて

「プレイリスト」は、曲を組み合わせて好みの順番で再生できる機能です。

アーティスト別、アルバム別やミュージックソムリエ機能が自動的に選曲する他に、自分で作成する「ユーザープレイリスト」もあります。

アーティスト： アーティストごとに曲を集めたプレイリストです。
アルバム： アルバム(CD)ごとに曲を集めたプレイリストです。
ミュージックソムリエ： （☞41ページ）
ミュージックソムリエ機能による選曲結果が表示されます。
ユーザープレイリスト： 自分の好みの曲を集めて作成します。（☞36ページ）

「HDD」内では「アーティスト」、「アルバム」は、階層化されています。
「アーティスト」の下にそのアーティストの「アルバム」があります。

アーティスト をクリックした場合、アーティストを選んだ後、そのアーティストのアルバムを選びます。（☞23ページ）

お知らせ

選んだ再生機器の種類によっては、「アーティストプレイリスト」、「アルバムプレイリスト」、「印象プレイリスト」がユーザープレイリストとしてSDメモリーカードへ書き込まれることがあります。

ユーザープレイリストを作る

好みの曲を集めて、新しくユーザープレイリストを作ることができます。

❶ ユーザープレイリストに登録したい曲を選ぶ

❷ [プレイリスト登録] をクリックし、［新規］を選ぶ

- 新しいユーザープレイリストが作成され、選んだ曲がユーザープレイリストに登録されます。
- ユーザープレイリストの名前はベースファイル名に従って付けられます。
  （☞73ページ）
  作成したユーザープレイリストの内容が分かるように名前を変更しておくことをおすすめします。（☞38ページ）

お知らせ

- 下記の方法でもプレイリストの作成が出来ます。
  – 〈ユーザープレイリスト選択〉画面の [新規作成] をクリックする

ユーザープレイリストに曲を追加する

❶ **ユーザープレイリストに追加したい曲を選ぶ**

❷ **[プレイリスト登録]をクリックし、ユーザープレイリスト名を選ぶ**

ユーザープレイリストを表示する

❶ **[ユーザープレイリスト]をクリックする**

〈ユーザープレイリスト選択〉画面が表示されます。

❷ **ユーザープレイリスト名をクリックし、[決定]をクリックする**

選んだユーザープレイリストの曲のみが「曲リスト」に表示されます。

プレイリストを編集する

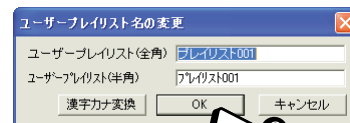
ユーザープレイリスト名を変更する

❶ [ユーザープレイリスト] をクリックする

〈ユーザープレイリスト選択〉画面が表示されます。

❷ 名前を変更したいユーザープレイリストを選び、[変更] をクリックする

〈ユーザープレイリスト名の変更〉画面が表示されます。

❸ プレイリスト名を変更して [OK] ボタンをクリックする

お知らせ

「ユーザープレイリスト（全角）」欄に名前を入力した後、［漢字カナ変換］ボタンをクリックすると、「ﾕｰｻﾞｰﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ（半角）」欄に半角に変換した名前が入力されます。
ただし、変換結果が正しくない場合があります。その際には、手入力してください。

次ページへ続く

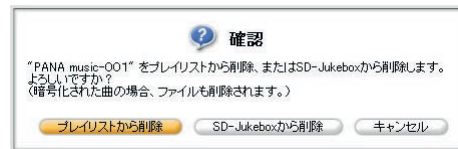
ユーザープレイリストから曲を削除する

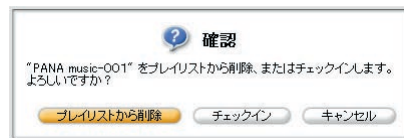
❶ ユーザープレイリスト内の削除する曲をクリックする

❷ ファイル削除 をクリックする

確認の画面が表示されます。

❸ 確認の画面から削除方法を選ぶ

- ［プレイリストから削除］ボタンをクリックすると、そのユーザープレイリストから曲が外れます。
  音楽データそのものが消去されるわけではありません。
- ［SD-Jukeboxから削除］ボタンをクリックすると、暗号化されている曲はパソコン内の音楽データそのものが消去されます。

お知らせ

- SDメモリーカード内のプレイリストの曲を選んで、ファイル削除 をクリックした場合、右の確認画面が表示されます。
  – ［プレイリストから削除］ボタンをクリックすると、そのプレイリストから曲が外れます。
  – ［チェックイン］ボタンをクリックすると、「HDD」内に元の曲がある場合は、SDメモリーカードの曲は、「HDD」に戻されます。
  「HDD」内に元の曲がない場合、SDメモリーカードの曲は削除されます。

次ページへ続く

ユーザープレイリストを削除する

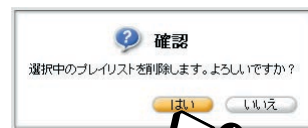
❶ ユーザープレイリスト をクリックする

〈ユーザープレイリスト選択〉画面が表示されます。

❷ 削除するユーザープレイリストをクリックする

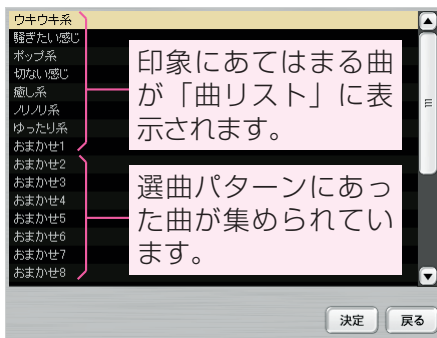
❸ 削除 をクリックする

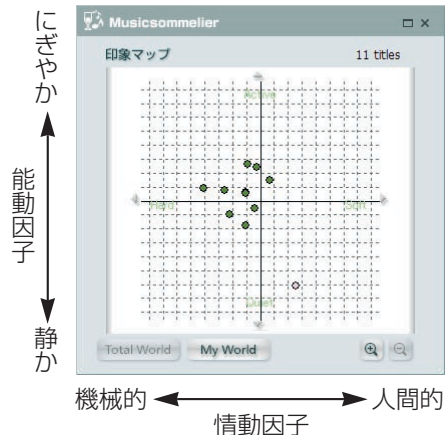
確認の画面が表示されます。

❹ [はい] ボタンをクリックする

お知らせ

ユーザープレイリストや新規登録した「印象プレイリスト」など、新しく作成したプレイリストのみ削除できます。

ミュージックソムリエ機能

ミュージックソムリエ機能について

SD-Jukeboxでパソコンに曲を録音すると、曲のテンポやビートなどの特徴をもとに、ミュージックソムリエ機能が曲の印象を自動的に判断します。
その印象をもとにして曲を集めて、「印象プレイリスト」を作成します。
「おまかせ1」～「おまかせ8」の選曲はランダムに行われるので、「HDD」で「印象プレイリスト」を選ぶ度に「曲リスト」に表示される曲が変わります。

ミュージックソムリエが判断した結果は、〈印象マップ〉画面で表されます。〈印象マップ〉画面は、にぎやか、静かなどの「能動因子」と機械的、人間的などの「情動因子」の2次元で構成されています。それぞれの曲は点で表示され、〈印象マップ〉画面で、点の位置がその曲の印象を表します。
〈印象マップ〉画面は、「通常モード」で表示できます。
ミュージックソムリエ機能への登録は、音楽CDを録音するとき（☞18ページ）や、音楽データを取り込むとき（☞31ページ）に「ミュージックソムリエに登録する」にチェックマークをつけていると登録されます。
ミュージックソムリエへの登録は、下記の場所で確認できます。
－「曲リスト」のタイトル左側の音符付きマーク

お知らせ

- 曲に対する印象には個人差があるため、ミュージックソムリエの選曲が必ずしも個人の好みに合っているとは限りません。
- 音楽以外のデータ（英会話、落語、効果音など）も登録することができますが、印象が正しく判断されません。録音するときは、「ミュージックソムリエに登録する」のチェックマークを外してください。
- 録音時の状態や雑音によって、ミュージックソムリエの印象が変わることがあります。そのため、同じ曲を2度録音しても、〈印象マップ〉画面で異なる位置に表示される場合があります。
- 新しい「印象プレイリスト」の作成やミュージックソムリエへの登録・削除などは、「通常モード」で行ってください。

ミュージックザッピング機能について

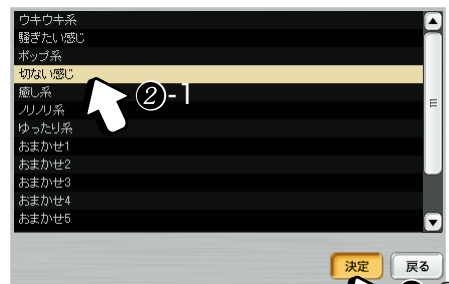
ミュージックソムリエに登録された曲の特徴部分（さびの部分）をとらえて約20秒間再生する機能です。
ミュージックソムリエに登録されていない曲は先頭から約20秒間再生します。（☞57ページ）
多くの曲の中から次々と試聴しながら目的の曲を探す場合などに利用できます。

ミュージックソムリエで選曲する

❶ ［ミュージックソムリエ］をクリックする

〈印象プレイリスト選択〉画面が表示されます。

❷「印象プレイリスト」をクリックし、［決定］をクリックする

選んだ「印象プレイリスト」の曲のみが「曲リスト」に表示されます。

お知らせ

- 「おまかせ1」～「おまかせ8」は、下記の選曲パターンになっています。
  - おまかせ1：ゆったりした曲からにぎやかな曲へ
  - おまかせ2：にぎやかな曲→ゆったりした曲→にぎやかな曲
  - おまかせ3：にぎやかな曲からゆったりした曲へ
  - おまかせ4：ゆったりした曲→ にぎやかな曲→ゆったりした曲
  - おまかせ5：ゆったりした曲→にぎやかな曲→ゆったりした曲→にぎやかな曲
  - おまかせ6：にぎやかな曲→ゆったりした曲→にぎやかな曲→ゆったりした曲
  - おまかせ7：にぎやかな曲のみ
  - おまかせ8：ゆったりした曲のみ
- 「おまかせ1」～「おまかせ8」の選曲はランダムに行われるので、「HDD」で「印象プレイリスト」を選ぶ度に「曲リスト」に表示される曲が変わります。

パーソナルサラウンド（Ver.4での名称：ハイパーサラウンドシステム）

パーソナルサラウンドについて

パソコンで音楽データを再生するときの環境（スピーカー、ヘッドホン、インサイドホン）に対して最適な音場効果を与え、実際の部屋よりも広い場所で再生しているような広がりを持たせることができます。この機能を「パーソナルサラウンド」と呼びます。
現実の再生環境（パソコンからスピーカーやヘッドホン）を指定し、「音の広がり」や「部屋の広さ」をお好みにあわせて切り替えることで、いろいろな音場効果をお楽しみいただけます。

再生環境と音の効果を設定する

1 画面上部の［設定］をクリックし、［詳細設定］をクリックする

〈詳細設定〉画面が表示されます。

2 「パーソナルサラウンド」タブをクリックする

〈パーソナルサラウンド〉設定画面が表示されます。

3 再生環境と効果設定を選ぶ

詳しい設定については、81ページを参照してください。

4 ［OK］ボタンをクリックする

5 パーソナルサラウンド をクリックする

- パーソナルサラウンド に変わり、音質がサラウンドに切り替わります。
- 再度クリックすると、元に戻ります。

お知らせ

音質が切り替わるまでに2～3秒かかる場合があります。

音楽コンテンツを携帯電話でダウンロードする

2006年6月30日現在

音楽配信サービスについて

携帯電話でSDメモリーカードにダウンロードした音楽コンテンツも使用できます。
音楽CDから録音した曲と同様に、SD-Jukeboxを使って、パソコンのハードディスクに移動したり、移動した曲をSDメモリーカードに書き込んだりできます。また、再生もできます。

ダウンロードした音楽コンテンツをSDメモリーカードから取り込む

音楽コンテンツをパソコンに移動する

携帯電話を使ってSDメモリーカードにダウンロードした曲(音楽コンテンツ)をパソコンに移動させることができます。

❶ 曲をダウンロードしたSDメモリーカードを、パソコンに接続する

❷ をクリックする

❸ パソコンに移動したい曲をクリックし、 ファイル削除 をクリックする

選んでいた曲がパソコンに移動されます。

お知らせ

- Windowsのエクスプローラーを使って、パソコンに取り込んだ曲の移動、名前変更、削除、圧縮などをしないでください。音楽コンテンツが再生できなくなります。必ずこのソフトウェアで操作してください。
- SDメモリーカードからパソコンに移動した曲は、SDメモリーカード上には残りません。
- パソコンに移動した音楽コンテンツをSDメモリーカードに書き込む場合、音楽コンテンツを選び HDD ▶ SD をクリックします。
- パソコンに移動した曲は、タイトルなどの編集、静止画の添付ができません。

リメイクSD pro機能

リメイクSD pro機能について

リメイクSD pro機能は、特定のSDメモリーカードに、特定の曲を書き込みます。
複数のSDメモリーカードをお持ちの場合、アーティスト別、ジャンル別などで使い分けることができます。たとえば、128 MBのSDメモリーカードには最新の曲を、256 MBのSDメモリーカードには「ウキウキ系」の曲を書き込むように設定できます。

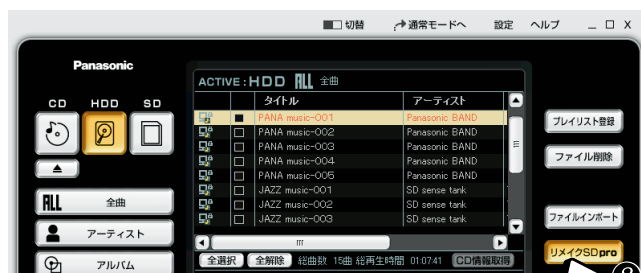
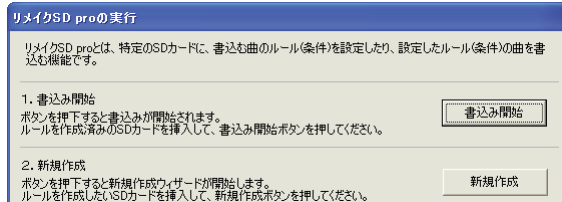
お願い

著作権保護未対応のSDメモリーカード用リーダーライターやSDメモリーカードではSDメモリーカードを認識しません。
また、パソコン内蔵のSDカードスロットの場合も同様です。
SDメモリーカードが認識されない場合、またはく、〈リメイクSD proルールの設定〉画面ー「SD設定」の［SDカードチェック］ボタンをクリックすると、診断ツール「SDメモリーカードヘルプ」が起動します。
「SDメモリーカードヘルプ」の内容に従って、接続の確認を行ってください。

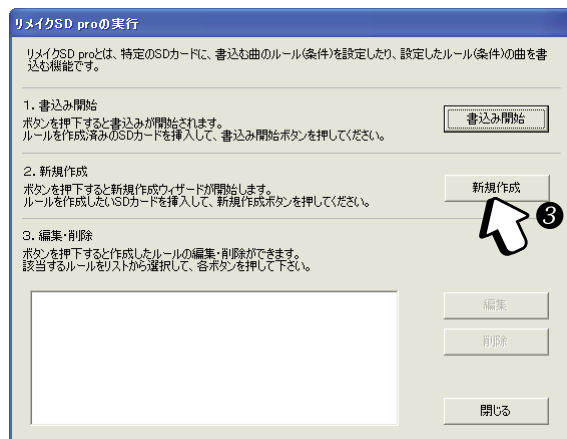
「書き込む曲のルール」を設定する

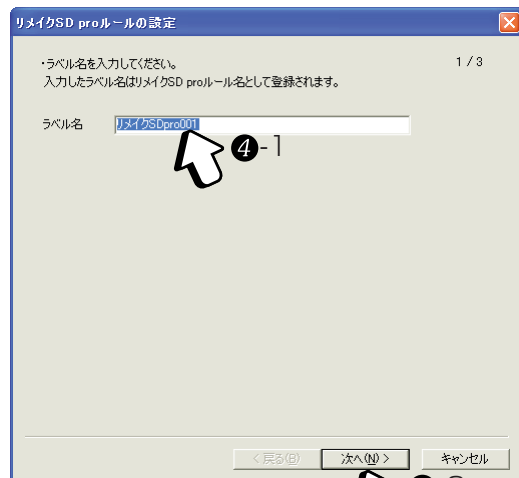
「書き込む曲のルール」を新たに設定します。

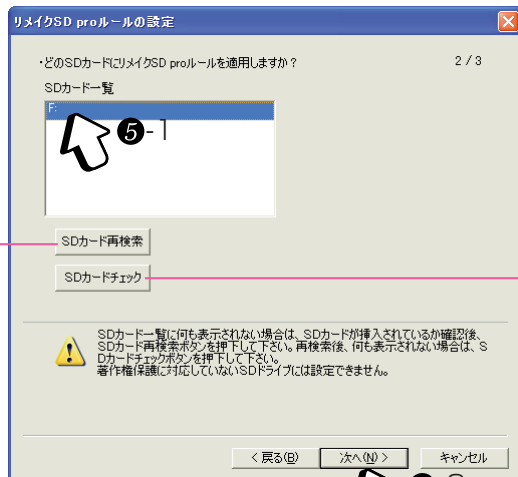
1 SDメモリーカードを接続する（☞14ページ）

2 リメイクSDpro をクリックする

〈リメイクSD proの実行〉画面が表示されます。

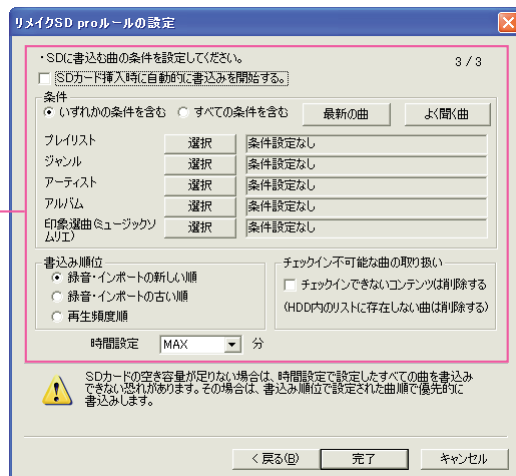
次ページへ続く

❸〈リメイクSD proの実行〉画面の［新規作成］ボタンをクリックします。

〈リメイクSD proルールの設定〉画面が表示されます。

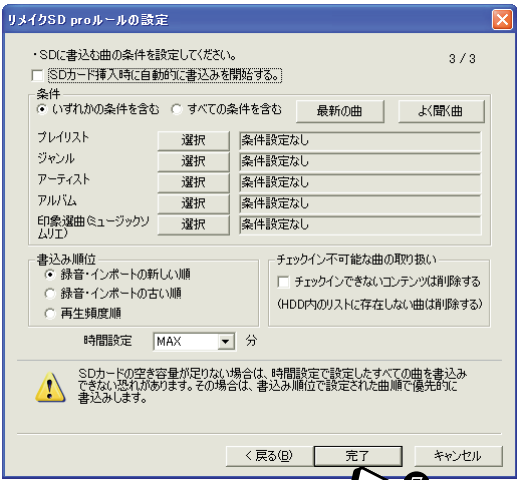
❹「ラベル名」欄に「書き込む曲のルール」の名前を入力し、［次へ］ボタンをクリックする

次ページへ続く

❺ リメイクSD pro機能を実行するSDメモリーカードのドライブを「SDカード一覧」から選び、［次へ］ボタンをクリックする

❻「書き込む曲のルール」を新たに設定する

書き込む曲のルールを設定します。
詳しい設定については、69ページを参照してください。

たとえば、ある歌手のよく聞く曲を「書き込む曲のルール」にしたい場合、「アーティスト」欄に目的の歌手を指定し、「書込み順位」を「再生頻度順」にします。

次ページへ続く

❼［完了］ボタンをクリックする

〈リメイクSD proの実行〉画面に戻ります。

お知らせ

携帯電話から取り込んだ音楽コンテンツ(Move 楽曲)は、リメイクSD pro機能の対象外です。

書き込みを行う

お知らせ

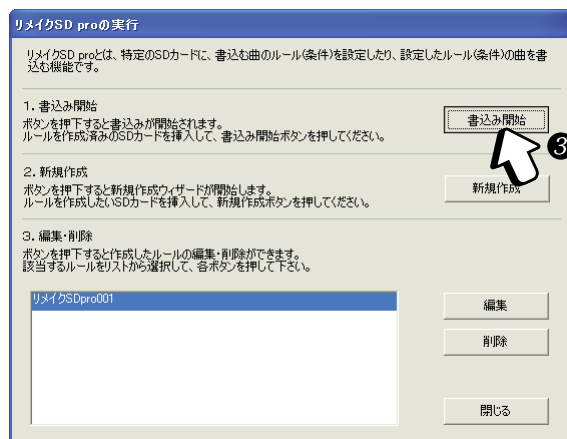
リメイクSD pro機能を実行すると、SDメモリーカード内のユーザープレイリストを一度削除して再度作り直します。このためSDメモリーカード内の自分で作成したユーザープレイリストが削除されることがあります。

❶「書き込む曲のルール」を設定したSDメモリーカードを接続する（☞ 14ページ）

❷ [リメイクSDpro] をクリックする

〈リメイクSD proの実行〉画面が表示されます。

❸［書込み開始］ボタンをクリックする

SDメモリーカードに設定した「書き込む曲のルール」で書き込みを開始します。

お知らせ

- 複数のSDメモリーカードを接続している場合、同時にリメイクSD pro機能はご使用になれません。
- 曲に添付されている静止画をSDメモリーカードに書き込むかは選んでいる再生機器によって異なります。詳しい内容については、84ページを参照してください。

「書き込む曲のルール」を編集する

「書き込む曲のルール」の名前、SDメモリーカード、ルールの編集ができます。

1 「書き込む曲のルール」を編集したいSDメモリーカードを接続する（☞ 14ページ）

2 リメイクSDpro をクリックする
〈リメイクSD proの実行〉画面が表示されます。

3 編集したい「書き込む曲のルール」を選び、［編集］ボタンをクリックする
〈リメイクSD proルールの設定〉画面が表示されます。
「書き込む曲のルール」の編集を行います。

「書き込む曲のルール」を削除する

「書き込む曲のルール」を削除します。

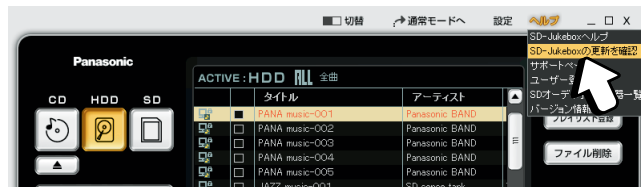
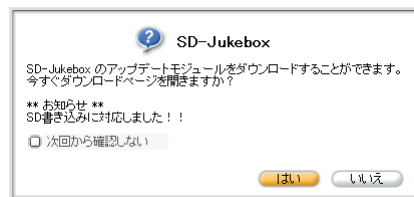
1 「書き込む曲のルール」を削除したいSDメモリーカードを接続する（☞ 14ページ）

2 リメイクSDpro をクリックする
〈リメイクSD proの実行〉画面が表示されます。

3 削除したい「書き込む曲のルール」を選び、［削除］ボタンをクリックする
選んだ「書き込む曲のルール」が削除されます。

更新(アップデート)の確認

SD-Jukeboxの最新版アップデートモジュールの確認ができます。

❶ 画面上部の［ヘルプ］をクリックし、［SD-Jukeboxの更新を確認］を選ぶ

最新版アップデートモジュールがある場合、右のような確認の画面が表示されます。

❷ ［はい］ボタンをクリックする

SD-Jukeboxが終了し、SD-Jukeboxのホームページが表示されます。
SD-Jukeboxの最新版情報を確認して、最新版にアップデートしてください。

お知らせ

- 上記の更新（アップデート）の確認方法以外に、SD-Jukeboxの起動後に最新版アップデートモジュールがある場合、自動的に確認画面が表示されます。
- アップデート方法については、ホームページに記載されている手順に従ってください。
- アップデートを利用するには、各サービスプロバイダーとの契約、インターネットへの接続環境の設定が必要です。

SDメモリーカードのフォーマット

以下の方法でSDメモリーカードをフォーマットしてください。

お願い

- フォーマットすると、SDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。
  SD-Jukeboxを使って書き込んだ曲以外のデータも消去されます。フォーマットする前に、必ずSDメモリーカードの内容を確認してください。
- 他のソフトウェアでSDメモリーカードを使っている場合は終了してください。
- 下記の方法以外（Windowsのエクスプローラーなど）でフォーマットしないでください。曲の書き込みや再生ができなくなることがあります。

❶ 画面上部の［設定］をクリックし、［詳細設定］をクリックする

〈詳細設定〉画面が表示されます。

〈詳細設定〉画面ー「SD」

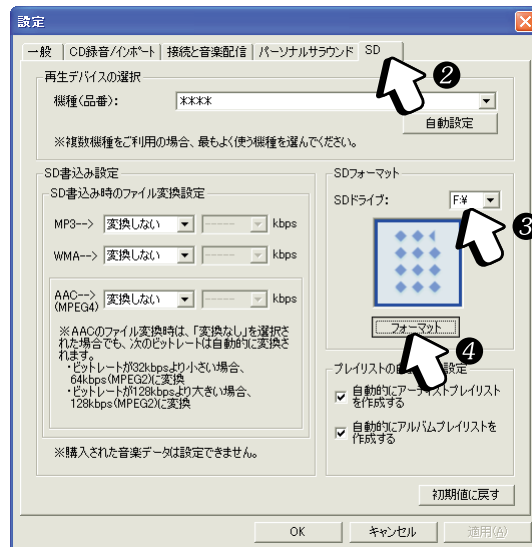
❷「SD」タブをクリックする

❸ フォーマットする「SDドライブ」を選ぶ

❹［フォーマット］ボタンをクリックする

❺ 確認の画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

- フォーマットが始まります。
- フォーマットが終了すると画面でお知らせします。

お願い

再生機器またはSDカードリーダーライターがSDメモリーカードにアクセスしている間は、SDメモリーカードを取り外さないでください。

画面各部のはたらき

① メディア切り替え部： CD、HDD(ハードディスク)、SD(SDメモリーカード)を切り替えます。
▲ をクリックすると、音楽CDが取り出せます。
SDメモリーカードが認識されない場合、「SD」は、 になります。クリックすると、診断ツール「SDメモリーカードヘルプ」が起動します。

② すべての曲を「曲リスト」に表示します。

③ アーティストプレイリストを「曲リスト」に表示します。

④ アルバムプレイリストを「曲リスト」に表示します。

⑤ ミュージックソムリエが選曲したパターンの曲を「曲リスト」に表示します。

⑥ ユーザープレイリストを「曲リスト」に表示します。

⑦ SD-Jukeboxを終了します。

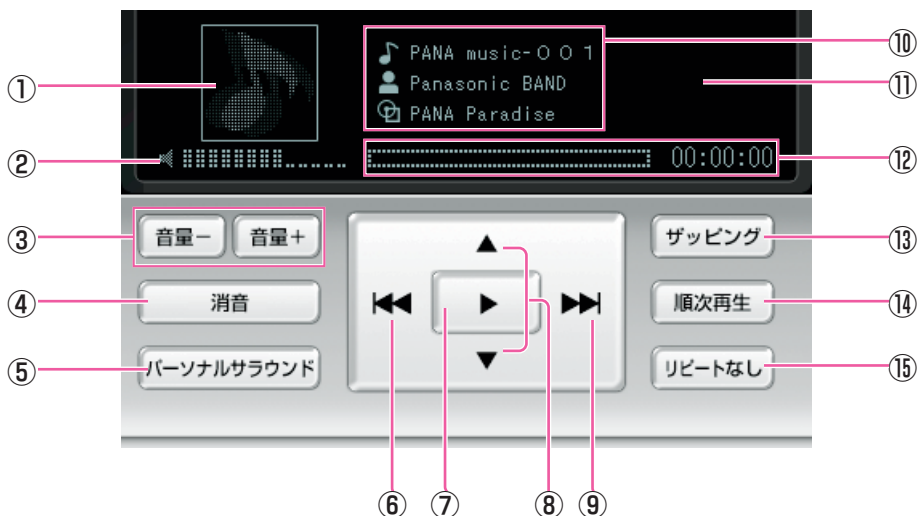
⑧ トラック表示部：（☞58ページ）

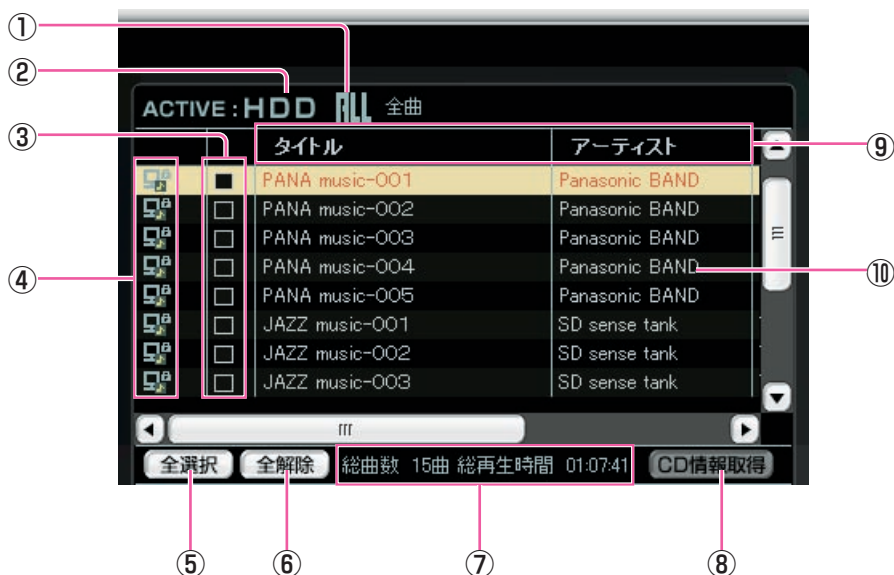
⑨ 再生操作部：曲を再生する操作をします。（☞57ページ）

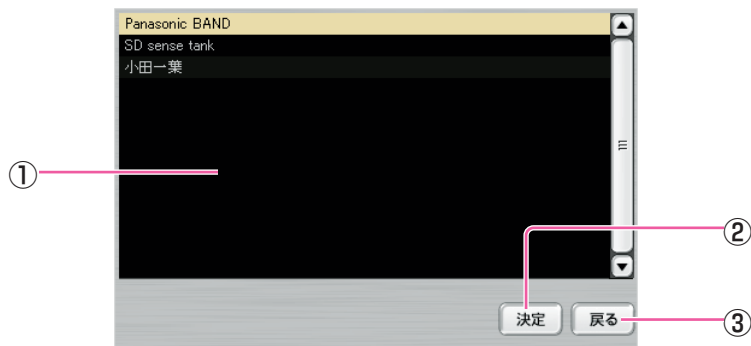
次ページへ続く

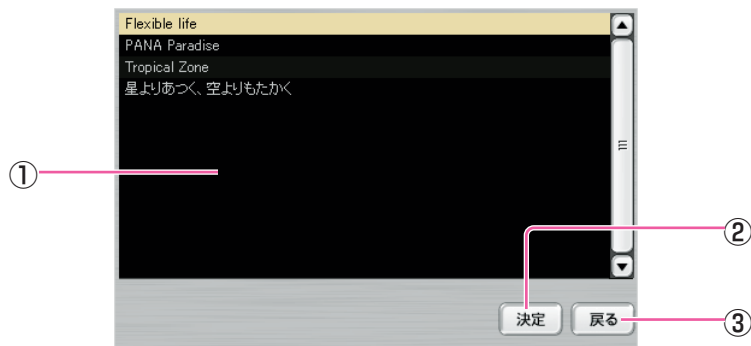
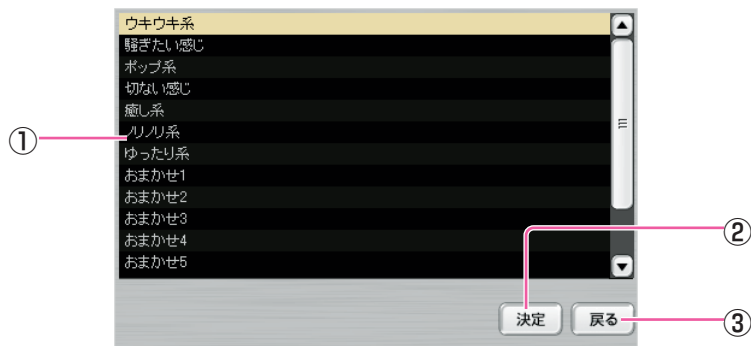
画面各部のはたらき

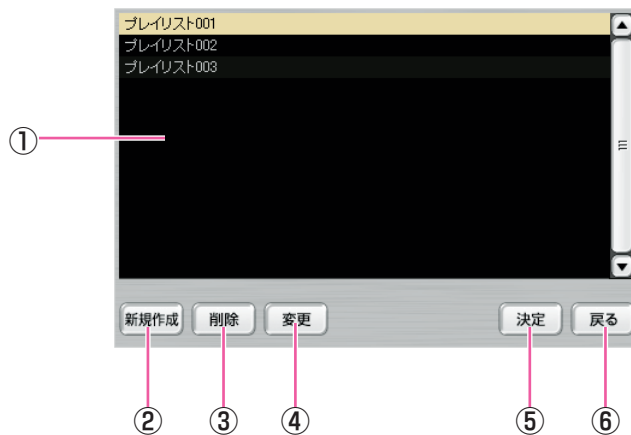
⑩ 画面の色を切り替えます。
⑪ 「通常モード」に切り替えます。曲の再生中は、モードの切り替えはできません。
⑫ 〈簡単設定〉画面（☞71ページ）と〈詳細設定〉画面（☞72ページ）を表示します。
⑬ 〈サポートページ〉に接続します。ユーザー登録、SD-Jukeboxの更新や対応機種の確認ができます。
またこの取扱説明書、バージョン情報を表示します。
⑭ ユーザープレイリストの作成と登録を行います。
⑮ ファイルを削除します。
⑯ 〈インポート〉画面を表示します。（☞65ページ）
⑰ 〈リメイクSD proの実行〉画面を表示します。（☞66ページ）
⑱ 音楽CDからパソコンへ曲を録音します。（☞18ページ）
⑲ 音楽CDからSDメモリーカードへ曲を録音します。（☞18ページ）
⑳ パソコンからSDメモリーカードへ曲を録音します。（☞25ページ）

再生操作部

① 曲に添付されている静止画を表示します。
② 音量を表示します。
③ 音量を調節します。
④ ミュートのON/OFFを切り替えます。
⑤ パーソナルサラウンドの設定（ON/OFF）を行います。
⑥ 前の曲の頭出しをします。
⑦ 曲を再生します。
再生中は ［II］ になります。クリックすると再生を一時停止し、［▶］ になります。
⑧ 「曲リスト」の選択枠を上下に移動します。
⑨ 次の曲の頭出しをします。
⑩ タイトル、アーティスト、アルバムを表示します。
⑪ スペクトルアナライザーを表示します。
⑫ 再生状況と再生時間を表示します。
⑬ ザッピング再生の設定（ON/OFF）を行います。(☞42ページ)
⑭ ［順次再生］：再生モードを切り替えます。
［順次再生］(通常再生)→［ランダム再生］(ランダム再生)
⑮ ［リピートなし］：「曲リスト」のリピートモードを切り替えます。
［リピートなし］(リピートなし)→［1曲リピート］(1 曲リピート)→［全曲リピート］(全曲リピート)

トラック表示部

① 選んでいるプレイリストを表示します。
② 選んでいるメディアを表示します。
③ 書き込む曲にチェックマークをつけます。
④ ミュージックソムリエに登録されている曲には、音符付きマークが表示されます。
暗号化されている曲には、鍵付きマークが表示されます。
⑤ クリックすると、「曲リスト」の曲のすべてにチェックマークが付きます。
⑥ クリックすると、「曲リスト」の曲のチェックマークがすべて外れます。
⑦ 表示されている曲の総数と総再生時間が表示されます。
⑧ 音楽CDを選んでいるとき、CDDBから「楽曲情報」を取得します。
⑨ 項目欄をクリックして「曲リスト」の表示順を並べかえます。
⑩ 曲リスト：曲情報を表示します。

〈アーティスト選択〉画面

① アーティスト名が一覧表示されます。
② 「HDD」を選んでいる場合、アーティスト名を選び、クリックすると〈アルバム選択〉画面が表示されます。
「SD」を選んでいる場合、アーティスト名を選び、クリックすると「曲リスト」にアーティストの曲がすべて表示されます。
③ 元の画面にもどります。

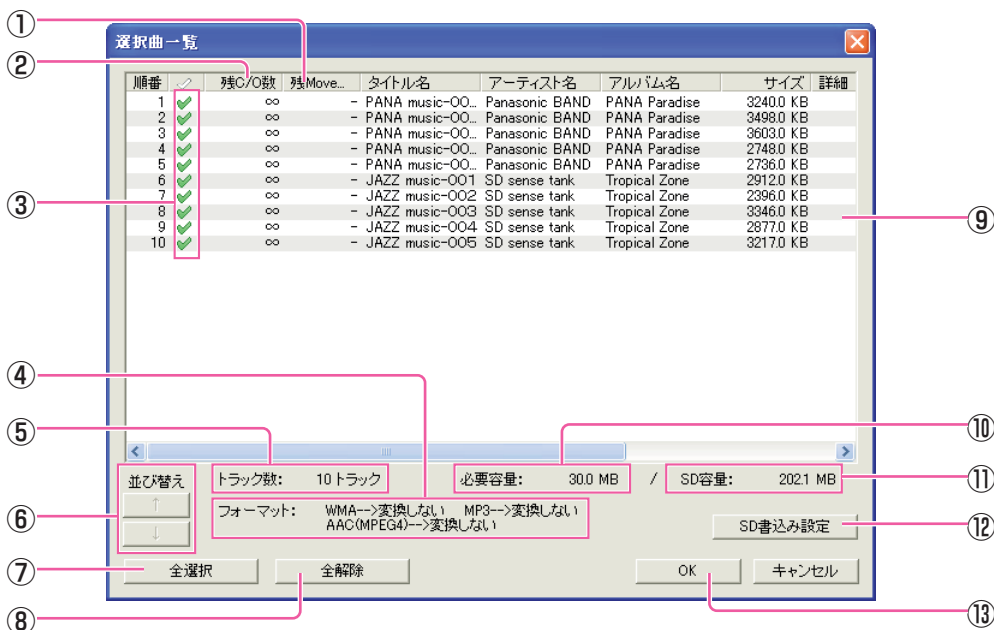
〈アルバム選択〉画面

① アルバム名が一覧表示されます。
② アルバム名を選び、クリックすると「曲リスト」に曲が表示されます。
③ 元の画面にもどります。

〈印象プレイリスト選択〉画面

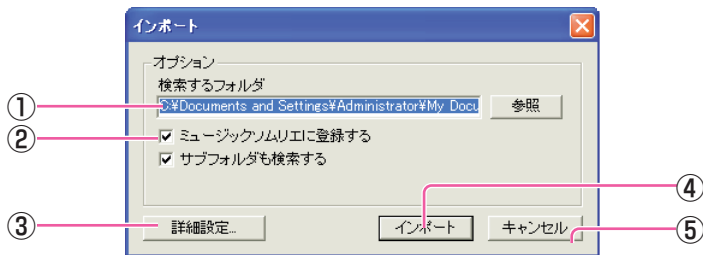
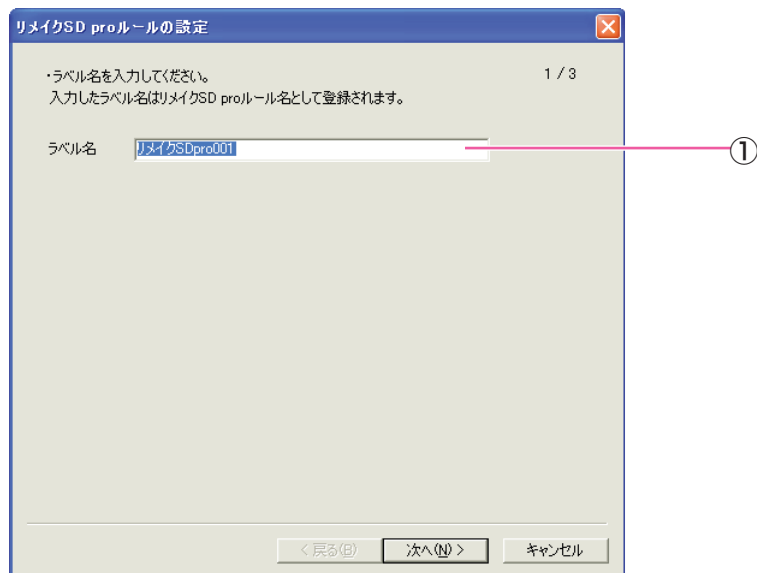
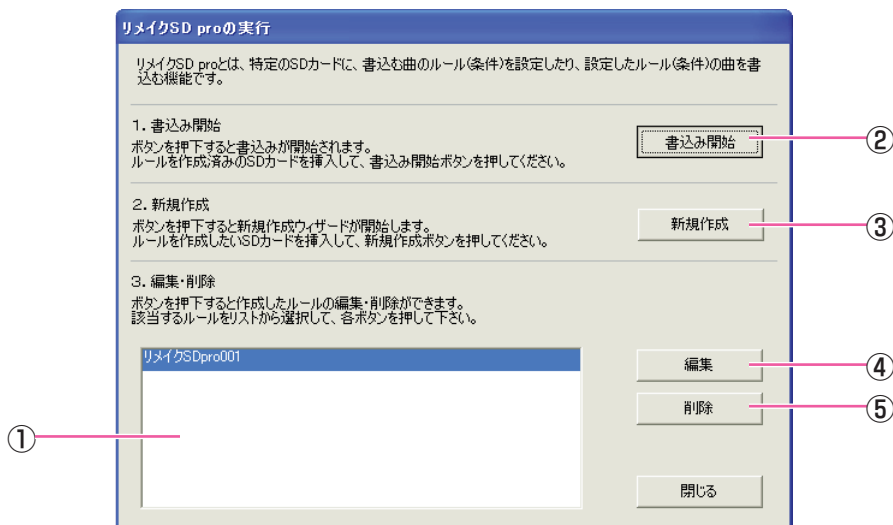
① ミュージックソムリエの「印象プレイリスト」名が一覧表示されます。
② 「印象プレイリスト」を選び、クリックすると「曲リスト」に曲が表示されます。
③ 元の画面にもどります。

〈ユーザープレイリスト選択〉画面

① ユーザープレイリスト名が一覧表示されます。
② ユーザープレイリストを作成します。
③ ユーザープレイリストを削除します。
④ ユーザープレイリスト名を変更します。
⑤ ユーザープレイリストを選び、クリックすると「曲リスト」に曲が表示されます。
⑥ 元の画面にもどります。

CD録音ー〈選択曲一覧〉画面

① 録音する曲にチェックマークをつけます。
② 選んでいる曲数を表示します。
③ 現在設定されている録音形式と音質を表示します。
④ ミュージックソムリエの登録（ON/OFF）を行います。
⑤ クリックすると、「曲リスト」の曲のすべてにチェックマークが付きます。
⑥ クリックすると、「曲リスト」の曲のチェックマークがすべて外れます。
⑦ 選んだ曲が表示されます。
⑧ 録音するために必要な容量を表示します。
⑨ パソコンの空き容量を表示します。
⑩ 〈CD録音/インポート〉設定画面を表示します。（☞75ページ）
⑪ 録音を実行します。

SD書き込みー〈選択曲一覧〉画面

① SDメモリーカードに移動する残り回数が表示されます。
② SDメモリーカードに書き込める残り回数が表示されます。
③ SDメモリーカードに書き込む曲にチェックマークをつけます。
④ 現在設定されているSDメモリーカードに書き込むファイル形式と音質を表示します。
⑤ 選んでいる曲数を表示します。
⑥ SDメモリーカードに書き込む曲の順番を並び替えます。
⑦ クリックすると、「曲リスト」の曲のすべてにチェックマークが付きます。
⑧ クリックすると、「曲リスト」の曲のチェックマークがすべて外れます。
⑨ 選んだ曲が表示されます。ドラッグ＆ドロップで曲の順番を並び替えます。
⑩ SDメモリーカードに書き込むための必要な容量を表示します。
⑪ SDメモリーカードに書き込める容量を表示します。
⑫ 〈SD〉設定画面を表示します。（☞83ページ）
⑬ SDメモリーカードへの書き込みを実行します。

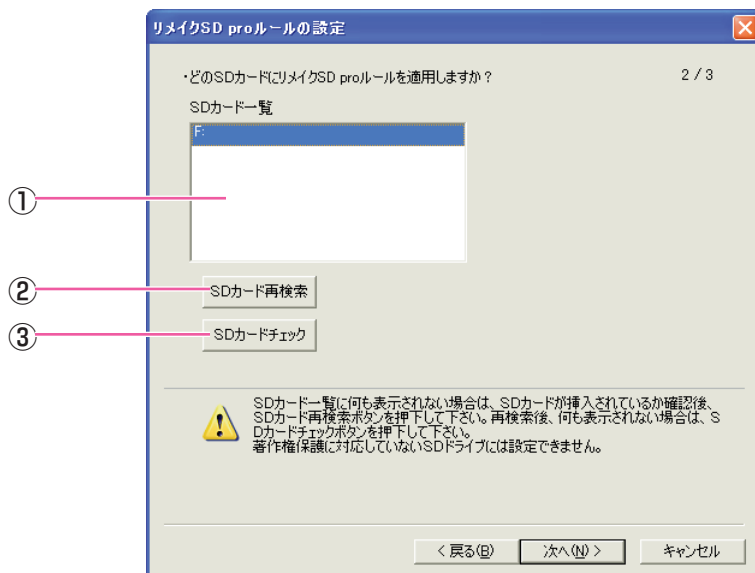
〈インポート〉画面

① 取り込みたい音楽データ（ファイル）があるフォルダーを選びます。
② ミュージックソムリエの登録（ON/OFF）を行います。
③ 〈CD録音／インポート〉設定画面を表示します。(☞75ページ)
④ 取り込みを始めます。
⑤ 取り込みを中止します。

〈リメイクSD proの実行〉画面

① 設定した「書き込む曲のルール」が一覧表示されます。
② 挿入したSDメモリーカードと一致する「書き込む曲のルール」を自動的に判断して、書き込みを実行します。
③ 新たに「書き込む曲のルール」を作成します。
④ 選んだ「書き込む曲のルール」を編集します。
⑤ 選んだ「書き込む曲のルール」を削除します。

〈リメイクSD proルールの設定〉画面ー「ラベル名作成」

① 「書き込む曲のルール」の名前を設定します。

お知らせ

入力できる文字数は全角で16文字、半角で32文字です。

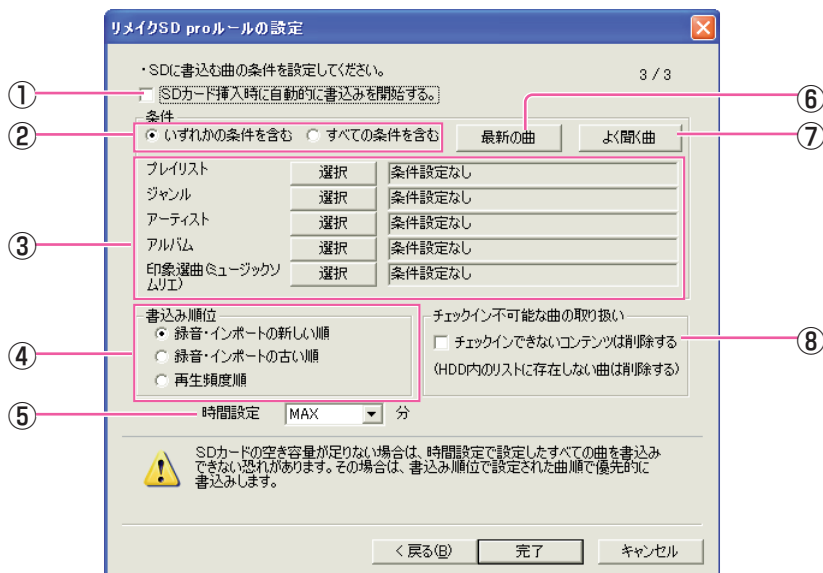
〈リメイクSD proルールの設定〉画面－「SD設定」

① SDメモリーカードが挿入されているドライブが表示されます。
② 「SDカード一覧」の表示を最新の状態にします。
③ 診断ツール「SDメモリーカードヘルプ」が起動します。

お 願 い

著作権保護未対応のSDメモリーカード用リーダーライターやSDメモリーカードではSDメモリーカードを認識しません。また、パソコン内蔵のSDカードスロットの場合も同様です。
当社製以外のリーダーライター等の著作権保護対応については、各メーカーに問い合わせてください。

お知らせ

「SDメモリーカードヘルプ」は、SDメモリーカードの接続確認を行います。表示される内容に従って確認してください。

〈リメイクSD proルールの設定〉画面ー「条件設定」

① チェックマークを付けると、SD-Jukeboxの起動中にSDメモリーカードを接続すると自動的に「書き込む曲のルール」を実行します。

② いずれかの条件を含む：　選んだ条件のうち、１つでも条件に当てはまる曲をすべてSDメモリーカードへ書き込みます。

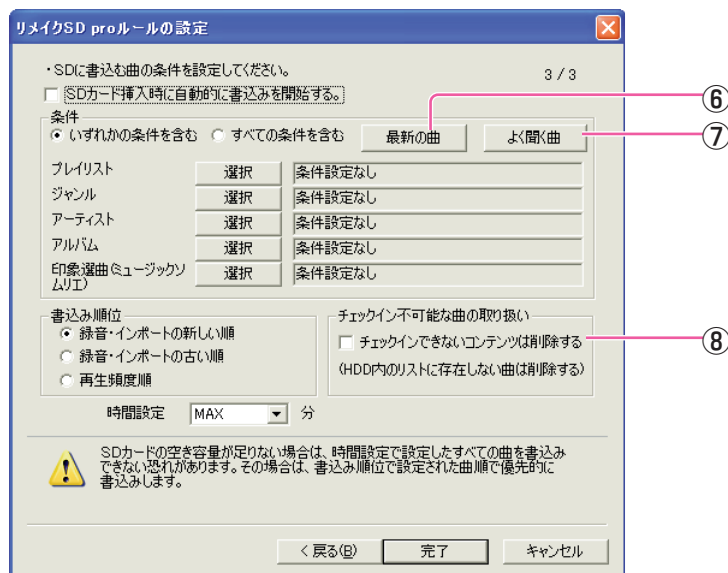
すべての条件を含む：　選んだ条件のすべてに当てはまる曲のみをSDメモリーカードへ書き込みます。

③ 書き込む条件を設定します。
［選択］ボタンをクリックして書き込むプレイリストを選びます。

④ 書き込む順位を設定します。
設定したルールでは、SDメモリーカードの容量が足りない場合やルールに該当する曲数が最大曲数より多い場合、この設定の順で書き込みます。

⑤ 設定した時間のみ、設定したルールに一致する曲を書き込みます。
設定したルールに一致する曲の総再生時間が設定した時間を超える場合、「書込み順位」で設定した順で書き込みます。

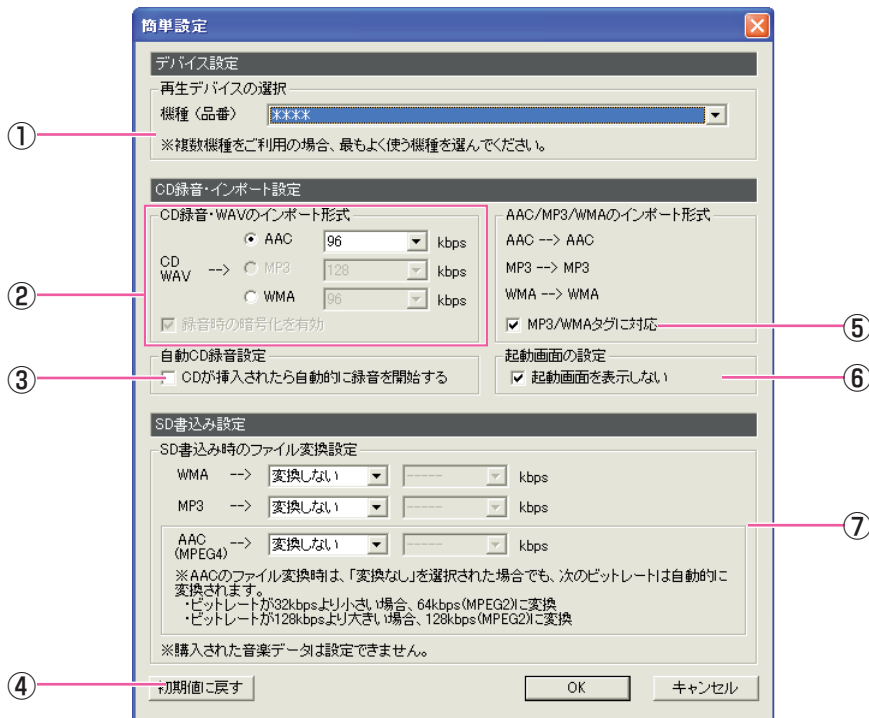
次ページへ続く

〈リメイクSD proルールの設定〉画面ー「条件設定」(つづき)

⑥ 最新の曲の条件が自動的に設定されます。
⑦ よく聞く曲の条件が自動的に設定されます。
⑧ チェックマークを付けると、「HDD」内の「曲リスト」に存在しない曲がSDメモリーカード内にある場合、SDメモリーカード内の曲を自動的に削除します。

お知らせ

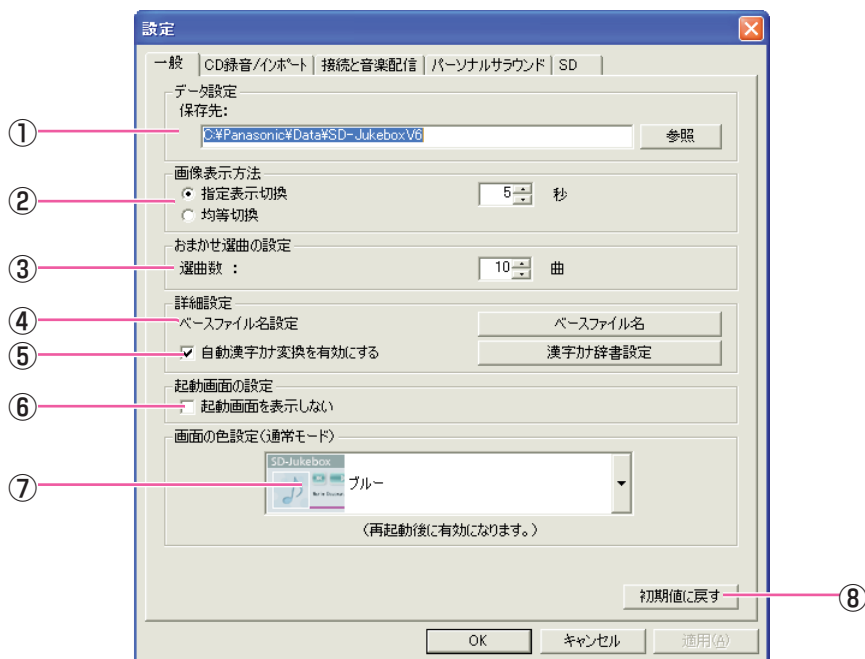
携帯電話から取り込んだ音楽コンテンツ(Move楽曲)は「書き込む曲のルール」の対象外です。

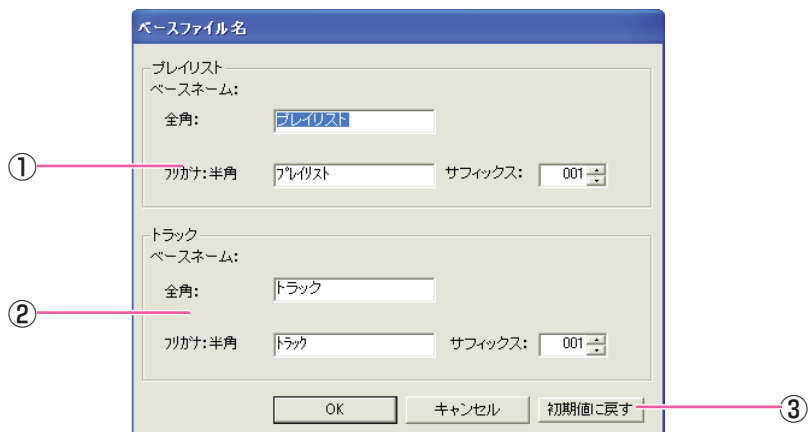
画面各部のはたらき

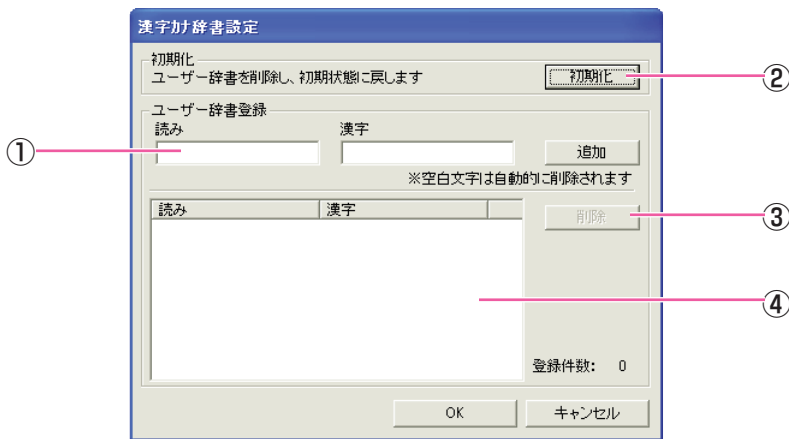
〈簡単設定〉画面

① お使いになる再生機器を選びます。
② CD録音時の音質または、WAV形式の音楽データ（ファイル）の取り込み方法を設定します。
③ チェックマークを付けると、自動CD録音を行います。
④ 初期設定に戻します。
⑤ チェックマークを付けると、音楽データ（ファイル）が持つ文字情報も取り込みます。
⑥ チェックマークを外すと、起動時に起動画面が表示されます。
⑦ SDメモリーカードに書き込むとき、曲のファイル形式をAAC形式へ変換できます。

お知らせ

- **Light Editionでは、MP3形式への録音ができません。**
- パソコンの環境によっては、自動CD録音ができない場合があります。
  その場合は、「音楽CDをパソコンに録音する（☞ 18ページ）」の手順でCD録音を行ってください。

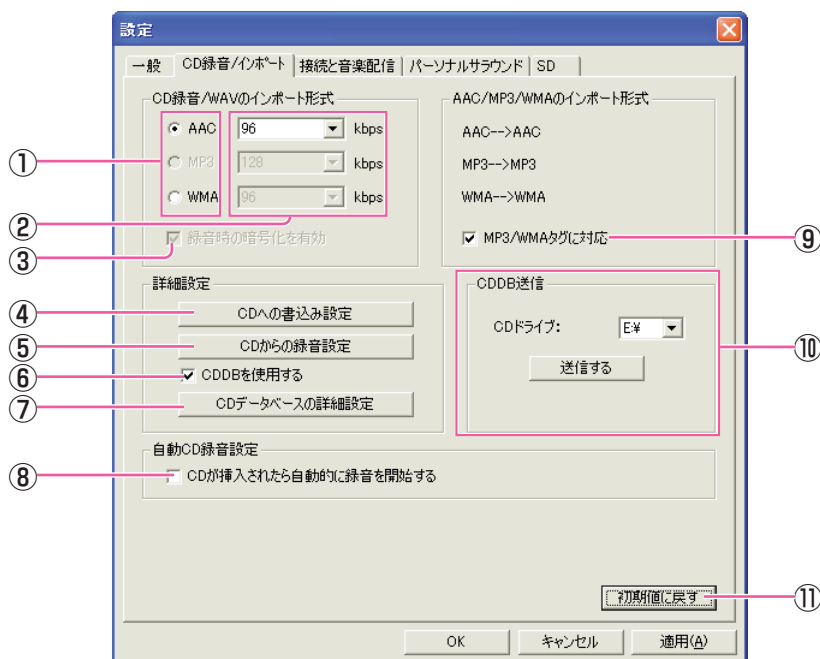
〈詳細設定〉画面ー「一般」

① 音楽データの保存場所を設定します。
② 曲に添付されている静止画の再生中の表示間隔を設定します。
③ おまかせで選曲するときに選ぶ曲数を設定します。(☞42ページ)
④ 自動的に付けられる「ベースファイル名」を設定します。
　［ベースファイル名］ボタンをクリックすると、〈ベースファイル名〉設定画面が表示されます。
　(☞73ページ)
⑤ チェックマークを付けると、自動的に全角文字を半角文字に変換します。
　［漢字カナ辞書設定］ボタンをクリックすると、〈漢字カナ辞書設定〉画面が表示されます。
　(☞74ページ)
⑥ チェックマークを外すと、起動時に起動画面が表示されます。
⑦ 「通常モード」の画面の色を設定します。
⑧ 初期設定に戻します。

〈ベースファイル名〉設定画面

① ベースネーム：プレイリストを作成したときに自動的に付ける名前を設定します。
　サフィックス：ベースネームの後に付けられる番号の初期値を設定します。
② ベースネーム：CDDBを使用していない場合、CDから録音した曲に自動的に付ける名前を設定します。
　サフィックス：ベースネームの後に付けられる番号の初期値を設定します。
③ 初期設定に戻します。

〈漢字カナ辞書設定〉画面

① 新たに登録したいアーティスト名の「読み」と「漢字」を入力します。
　「読み」は、半角で入力します。
② ユーザー辞書を初期化します。
③ 左のアーティスト名一覧で選んだアーティスト名を削除します。
④ ユーザー辞書に登録されているアーティスト名の「読み」と「漢字」が表示されます。
　選んでいるアーティスト名をクリックすると、編集ができます。

お知らせ

事前にアーティスト名を登録しておくと、漢字カナ変換を実行したときに誤変換を防ぐことができます。

〈詳細設定〉画面－「CD録音/インポート」

① CD録音時または、WAVE形式の音楽データ(ファイル)を取り込むときの録音形式を設定します。
② CD録音時または、WAVE形式の音楽データ(ファイル)を取り込むときの音質を設定します。
③ 録音する音楽データの暗号化を設定します。
④ 音楽CD作成時の詳細を設定します。音楽CDの作成は、「通常モード」で行えます。
⑤ CD録音時の詳細を設定します。(☞ 78ページ)
⑥ チェックマークを付けると、CDDBを使用します。
⑦ CDデータベースの詳細を設定します。(☞ 79ページ)
⑧ チェックマークを付けると、自動CD録音を行います。(☞ 20ページ)
⑨ チェックマークを付けると、音楽データ(ファイル)が持つ文字情報も取り込みます。
⑩ 入力または修正したCD曲情報を、CDDBへ送信してサーバーに登録することができます。(☞ 20ページ)
⑪ 初期設定に戻します。

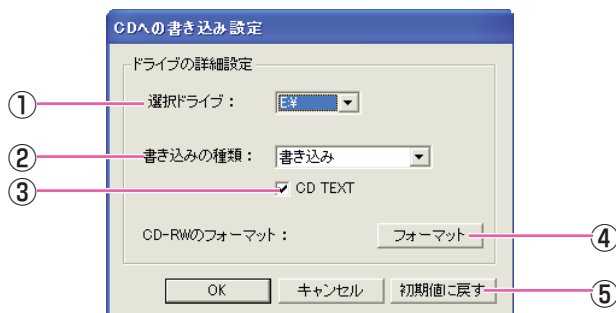
次ページへ続く

お知らせ

- **Light Editionでは、MP3形式への録音ができません。**
- 「CD録音/WＡＶのインポート形式」の「ビットレート（kbps)」の数値が大きいほど高音質になります。ただし、メモリー容量が多く必要になります。
- 以下の表は、64 MBのSDメモリーカードに録音するときの、録音可能時間の目安です。

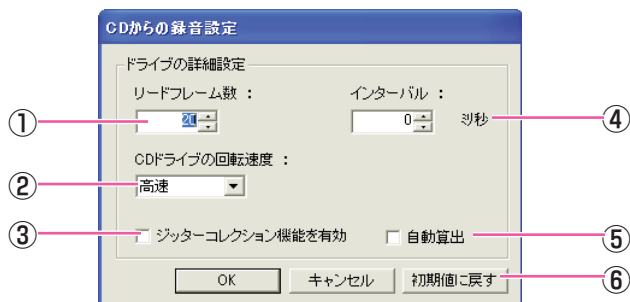
	ビットレート	時間
高音質	128 kbps	約64分
標準の音質	96 kbps	約86分
長時間録音	64 kbps	約129分

- パソコンの環境によっては、自動CD録音ができない場合があります。
  その場合は、「音楽CDをパソコンに録音する（☞ 18ページ)」の手順でCD録音を行ってください。

〈CDへの書き込み設定〉画面

① 音楽CDを作成するドライブを選びます。
② 音楽CDを作成するときの動作を選びます。
③ チェックマークを付けると、CD TEXT対応の音楽CDの作成ができます。
④ CD-RWディスクをフォーマットします。
⑤ 初期設定に戻します。

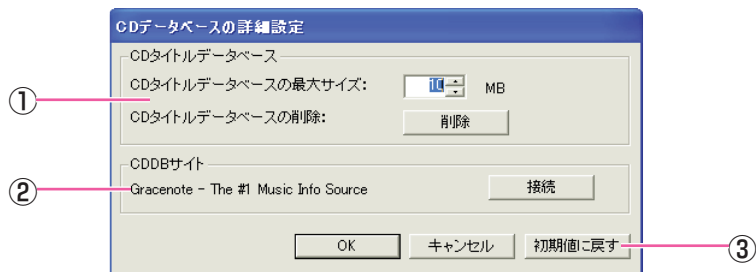
お知らせ

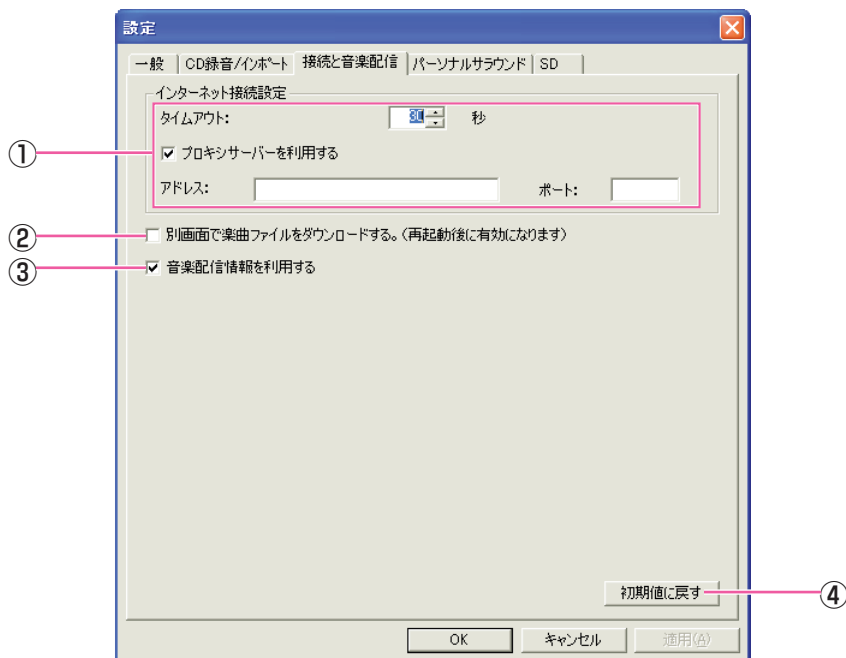
- CD TEXT対応の音楽CDを作成する場合、お使いのパソコンのドライブがCD TEXTに対応している必要があります。
- 音楽CDの作成は、「通常モード」で行ってください。

〈CDからの録音設定〉画面

① 音楽CDを読み込む際の１度に読みこむフレーム数を指定します。
② CDドライブの回転速度を設定します。
③ ジッターコレクション機能（音楽CDを読み込む際にオーバーラップさせてCDドライブのジッターを吸収する機能）の設定を行います。
④ 連続読み込みするCDドライブのインターバル時間を設定します。値を大きくすると録音時間が長くなります。
⑤ CDドライブの特性を自動的に算出し、最適な設定にします。チェック後の最初の録音時のみ自動算出します。
⑥ 初期設定に戻します。

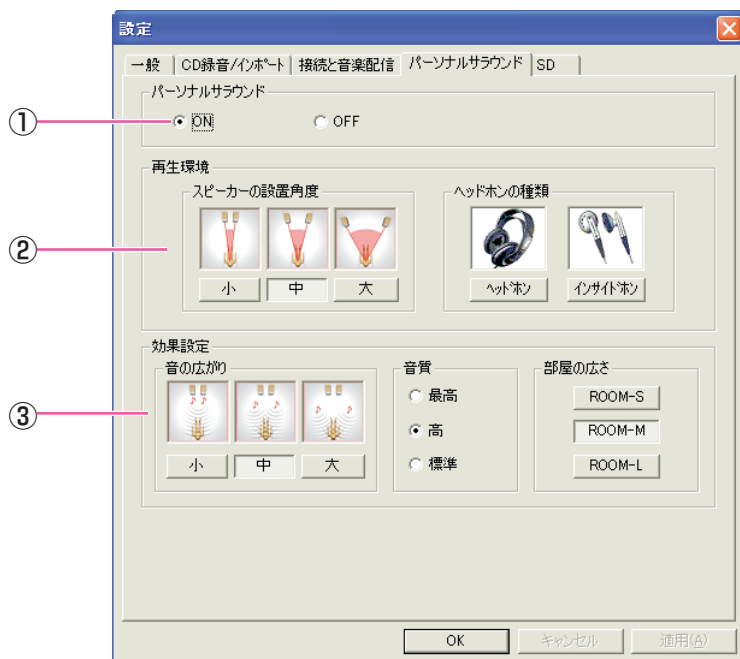
お知らせ

〈CDからの録音設定〉画面の内容は通常変更しないでください。

〈CDデータベースの詳細設定〉画面

① パソコンに保存されるタイトルのデータベースについて設定します。
② CDDBのWebサイトに接続します。
③ 初期設定に戻します。

〈詳細設定〉画面ー「接続と音楽配信」

① インターネットに関する設定をします。
CDDBを使用する場合は、必要に応じてプロキシの設定を行ってください。
プロキシサーバーを利用する：プロキシサーバーを利用する場合は、チェックマークを付けます。
アドレス、ポート：IPアドレスとポートナンバーを入力してください。
- ネットワーク管理者にアドレスとポート番号を確認してください。
- インターネット接続で問題があった場合は、プロバイダーなどインターネット接続サービス会社にご相談ください。

② チェックマークを付けると「通常モード」の曲のダウンロード状況が別画面で表示されます。
③ チェックマークを外すと、「通常モード」の［メディア切替］ボタンの MUSIC STORE がグレー表示になります。
④ 初期設定に戻します。

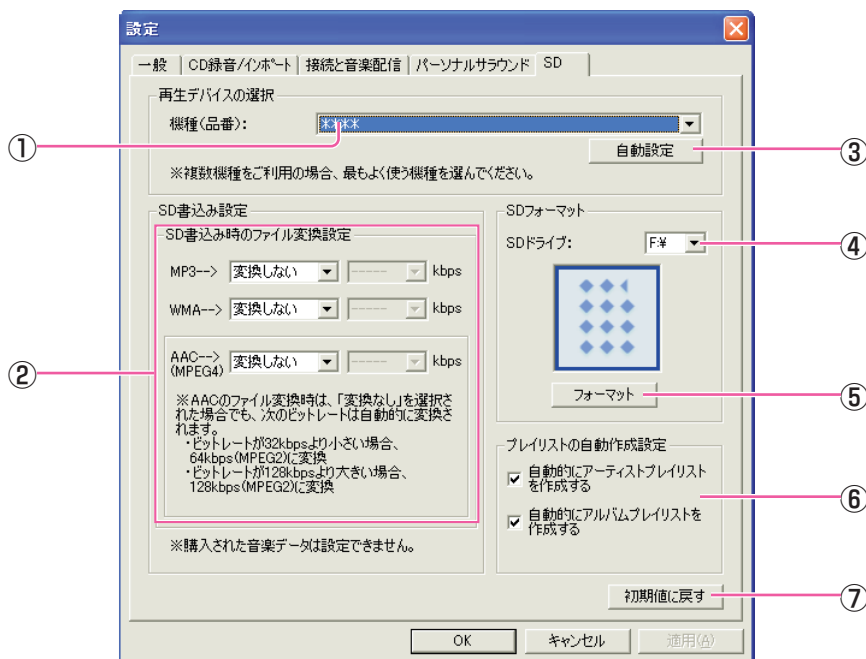
〈詳細設定〉画面ー「パーソナルサラウンド」

① パーソナルサラウンドの設定（ON/OFF）を行います。(☞43ページ)
② 音楽データをスピーカーで聞くのか、ヘッドホンで聞くのかを選びます。
スピーカーで再生する場合、「スピーカーの設置角度」で自分から見たスピーカーの角度を選びます。
ヘッドホンで再生する場合、「ヘッドホンの種類」を選びます。
③ 再生する仮想空間を設定します。
音の広がり　仮想空間での音の広がり方を選びます。
音質　パソコンの能力に合わせて音質を選びます。
部屋の広さ　音楽を聴く仮想空間の広さを選びます。

次ページへ続く

画面各部のはたらき

お知らせ

- お使いになる環境によっては実際の効果は異なります。
- 「効果設定」の「音質」を「最高」にすると、パーソナルサラウンドの効果を最大限に得ることができます。
  ただし、お使いのパソコン環境によっては、処理能力の不足により音とびなどが発生することがあります。
  このような場合には、「音質」の「高」または「標準」を選択することで、音とびなどの現象が改善される場合があります。
  また、「標準」を選択しても音とびが発生する場合は、パーソナルサラウンドのご利用を停止してください。
- 「再生環境」の「スピーカーの設置角度」の目安は、以下の通りです。
  小：約25°
  中：約30°
  大：約45°
- 「効果設定」の「部屋の広さ」の目安は、以下の通りです。
  ROOM-S ：約8畳
  ROOM-M：約12畳
  ROOM-L ：約16畳

〈詳細設定〉画面ー「SD」

① お使いになる再生機器を選びます。
② SDメモリーカードに書き込むとき、曲のファイル形式をAAC形式へ変換できます。
③ 「再生デバイスの選択」の「機種（品種）」で選んだ再生機器に最も適した設定にします。
　クリックすると、下記の設定が最適化されます。
　ｰ音楽CD録音の形式
　ｰSD書き込み時のファイル変換
④ フォーマットするSDメモリーカードのドライブを選びます。
⑤ SDメモリーカードのフォーマットを実行します。
⑥ SDメモリーカードに書き込むとき、自動作成するプレイリストの種類を設定します。(☞28ページ)
⑦ 初期設定に戻します。

次ページへ続く

お知らせ

- 「SD書込み時のファイル変換設定」には、下記の注意があります。
  – 元データ（変換前のデータ）のビットレートより高いビットレートを設定しても音質は良くなりません。
  – すべてのデータ形式の動作を保障するものではありません。
  – 再生機器の種類によっては、変換しても再生できない場合があります。
- 「AAC(MPEG4)→変換しない」設定時、以下の動作となります。
  – ビットレートが32kbps～128kbpsの場合は、音質は変換せず、形式のみAAC(MPEG2)に変換します。
  – ビットレートが32kbpsより小さい場合は、AAC(MPEG2) 64kbpsに、ビットレートが128kbpsより大きい場合は、AAC(MPEG2) 128kbpsに自動的に変換します。
- 「再生デバイスの選択」で特定の再生機器を選ぶと、書き込みたい曲に静止画が添付されている場合には、静止画もSDメモリーカードに書き込まれます。
  静止画像表示が可能な再生機器については、〈サポートページ〉をご覧ください。
  対応機種は、SD-Jukeboxの［ヘルプ］メニューの［SDオーディオ対応機器一覧］で確認ができます。

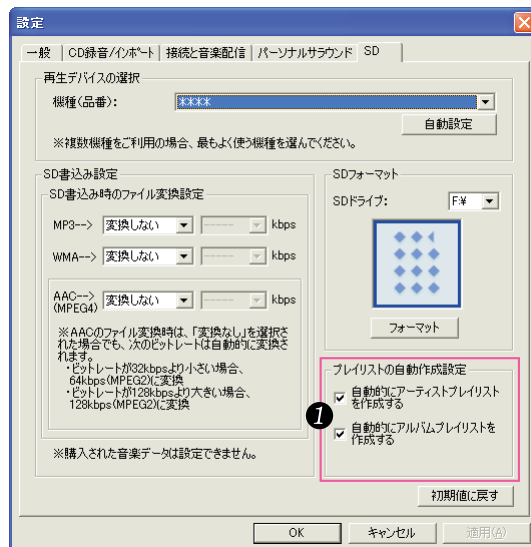
プレイリストを自動的に作成する

アーティストプレイリスト、アルバムプレイリストは、自動的に作成するように設定できます。

❶ 〈詳細設定〉画面-「SD」の「プレイリストの自動作成設定」を設定する

❷ 「SDメモリーカードへ好みの曲を選んで書き込む」(☞25ページ)の手順でSDメモリーカードへ曲を書き込む

お知らせ

お使いの再生機器の種類によっては、［アーティストプレイリスト］、「アルバムプレイリスト」がユーザープレイリストとして書き込まれることがあります。

対応するデータ形式

SDメモリーカードへ出力可能な音楽データ

入力形式 ＼ 出力形式		WMA (2チャンネル・ステレオ)	WMA (モノラル)	AAC(MPEG2) (2チャンネル・ステレオ)	AAC(SBR) (2チャンネル・ステレオ)	MP3 (2チャンネル・ステレオ)	MP3 (モノラル)
		48～192 kbps	20 kbps/32 kHz, 32 kbps/44.1 kHz	32～128 kbps	32 kbps / 48 kbps / 64 kbps	32～192kbps, VBR (32～192kbps)	16,24, 32 kbps
音楽CD	CD-DA CD-EXTRA	○ (64,96,128,160,192)	○ (32)	○ (64,96,128)	○	×	×
WMA (2チャンネル・ステレオ)	44.1/48 kHz 48 kbps～192 kbps	○	×	×	×	×	×
WMA (モノラル)	20 kbps/32 kHz, 32 kbps/44.1 kHz	×	○	×	×	×	×
WMA（可変ビットレート）		×	×	×	×	×	×
WMA（可逆圧縮）		×	×	×	×	×	×
MP3 (2チャンネル・ステレオ)	16/22.05/24 kHz 32 kbps～192 kbps	×	×	×	×	○	×
	32 kHz/32 kbps~192 kbps	×	×	×	×	○	×
	44.1 kHz/32 kbps~192 kbps	×	×	×	×	○	×
	48 kHz/32 kbps~192 kbps	×	×	×	×	○	×
	VBR（32～192kbps）	×	×	×	×	○	×
MP3 (モノラル)	22.05 kHz 16 kbps/24 kbps/32 kbps	×	×	×	×	×	○
WAV (16ビット ステレオ)	16(62),24(93), 32 kHz（125 KB/秒）	○ (64,96,128,160,192)	○ (32)	×	×	×	×
	44.1 kHz（172 KB/秒）			○(64,96,128)	○		
AAC (MPEG4) (2チャンネル・ステレオ)	16、22.05、24、32、44.1、48 kHz 32～128 kbps	×	×	○	○	×	×

- 入力形式MP3→出力形式MP3、および入力形式WMA→出力形式WMAではサンプリング周波数、ビットレートの変更は行いません。
- SD書き込み時のファイル変換をした場合を除く。
- AAC(SBR)で、SDメモリーカードへ書き込んだ曲は、AAC(SBR)に対応した再生機器で再生してください。AAC(SBR)に対応していない再生機器での再生は、音質が劣化する、再生できないなど、正常に動作しないことがあります。
- 対応する形式すべてについて、動作保証するものではありません。

アンインストールする

ソフトウェア（SD-Jukebox）をパソコンから削除して使えなくすることを、「アンインストール」といいます。
再生機器またはSDカードリーダーライターをパソコンから取り外してからアンインストールを始めてください。
SD-Jukeboxが起動している場合は、終了してください。

パソコンのコントロールパネルからアンインストールする

❶ Windowsの「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選ぶ
または「スタート」メニュー→「設定」→「コントロールパネル」を選ぶ

❷「プログラムの追加と削除」をクリックする
「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

❸ [SD-JukeboxV6] をクリックし、[変更と削除] ボタンをクリックする

❹ [OK] をクリックする
SD-JukeboxV6が削除され、確認の画面が表示されます。

❺ [完了] ボタンをクリックする

次ページへ続く

アンインストールする

CD-ROMからアンインストールする

❶ **付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる**

インストーラーが自動的に起動します。
自動的に起動しない場合は、下記の「インストーラーが自動的に起動しない場合」を参照してください。

❷ **[SD-Jukebox Ver.6.0のインストール] をクリックする**

〈ファイル削除の確認〉画面が表示されます。

❸ **[OK] ボタンをクリックする**

アンインストールが始まります。
画面の指示に従って、アンインストールを行ってください。
SD-Jukeboxが削除され、確認の画面が表示されます。

❹ **[完了] ボタンをクリックする**

インストーラー画面にもどります。
[終了] ボタンをクリックすると、インストーラーが終了します。

■ インストーラーが自動的に起動しない場合

❶ **Windowsのスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする**

❷ **「E：¥autorun.exe」と入力し、[OK] ボタンをクリックする**

（CD-ROMドライブが、「Eドライブ」の場合）
以降の操作は、画面の指示に従ってください。

お知らせ

「ファイル名を指定して実行」に入力する文字は、英数大文字・小文字のどちらでもかまいません。

再インストールする

SD-Jukebox をアンインストールした後、再インストールします。

お願い

- 再インストール時にもシリアル番号が必要です。CD-ROM パッケージをお手元に用意してください。
- 再インストールが終了するまで、再生機器またはSD カードリーダーライターをパソコンに接続しないでください。
- 再インストールする前に、お使いのパソコンが「必要なシステム構成」の内容を満たしているか確認してください。(☞ 10ページ)
- 再インストールする前に、他に起動しているアプリケーションをすべて終了してください。

❶ 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

インストーラーが自動的に起動します。
自動的に起動しない場合は、「インストーラーが自動的に起動しない場合(☞ 87ページ)」を参照してください。

❷ [SD-Jukebox Ver.6.0のインストール] をクリックする

インストールが始まります。
以降の操作は、画面の指示に従ってください。

❸ 〈InstallShield Wizardの完了〉画面でCD-ROMを取り出し、[完了] をクリックする

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択すると、パソコンが自動的に再起動され、インストールが完了します。

困ったときのQ＆A

おかしいな?と思ったら、本章をご参照ください。また、〈サポートページ〉から最新のQ&A情報もご覧いただけます。
SD-Jukeboxの［ヘルプ］メニューから［サポートページへ］を選ぶと〈サポートページ〉が表示されます。また〈サポートページ〉のURLは、「最新情報について（☞4ページ）」をご覧ください。
また、お使いのパソコンによる原因も考えられますので、お使いのパソコンの取扱説明書も参照してください。どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

■ インストールおよび起動時

こんなときは	ここをお調べください
シリアルナンバーがわからない。	SD-JukeboxのシリアルナンバーはCD-ROMのパッケージ表面（または裏面）に記載されている番号です。インストールの際には必ず必要になりますので、大切に保管してください。 ※ パソコンの買い替えなどによる再インストール時にも必要になります。 ※ 携帯電話に同梱されているSD-Jukeboxの場合、CD-ROMパッケージではなく、シリアルナンバーが印刷されたシールが同梱されている場合があります。
「シリアルナンバーが違います」と表示される。	• 「半角数字」で入力しているか確認してください。 「全角数字」ではインストールできません。 • シリアルナンバーが正しいか確認してください。
SD-Jukebox を起動できない。	次の内容で改善される場合があります。 ● **メーカー製パソコンの場合** パソコン本体のアップデートプログラムが提供されている場合があります。各ご使用のパソコンメーカーのホームページを確認してください。 ● **自作パソコンまたは組み立てパソコンの場合** （原則としてサポート対象外です） • マザーボードのBIOSのバージョンが最新になっているか確認してください。 • 各種ドライバーソフトが最新になっているか確認してください。 • CPUのクロックアップ設定や変換アダプターを利用していないことを確認してください。 • メモリーを複数枚装着している場合、クロックサイクル等が同一であることを確認してください。 • BIOSによるメモリーチェックの全工程でメモリー破損がないか確認してください。 • 電源の容量が十分あるか確認してください。 • BIOS設定を変更されている場合、デフォルトに戻して確認してください。 • BIOS設定にCPUIDの利用設定がある場合、enableにしてください。

次ページへ続く

こんなときは	ここをお調べください
起動時に 「音楽データを管理しているデーターベースが壊れています。データーベースの復元を行いますか？」 と表示される。	パソコンやソフトウェアの異常終了などで、SD-Jukeboxで使用しているデーターベースが壊れた場合に表示されます。 ①「音楽データを管理しているデーターベースが壊れています。データーベースの復元を行いますか？」 →「いいえ」を選択してください。 ②「音楽データーベースを管理しているデーターベースが壊れています。処理を続けるためには壊れたデーターベースの初期化が必要です。」 →「はい」を選択してください。 ③「データーベースの初期化を行います。」 →「はい」を選択してください。 ④ SD-Jukeboxを起動し表示されている曲があれば削除してください。 ※ 録音中やファイル取り込み中などにパソコンの電源を切った場合や、パソコンがサスペンド、レジューム、スタンバイモードなどに移行するとデータベースファイルが壊れる場合があります。 録音中やファイル取り込み時は上記の状態にならないようにしてください。
起動時に「COM Error」と表示される。	• ファイアウォールの設定によって表示される場合があります。 セキュリティソフトをご利用の場合、設定を確認してください。 また、ご使用のネットワーク環境のファイアウォールについてはネットワーク管理者に問い合わせてください。 •［詳細設定］－［接続と音楽配信］のプロキシサーバーの設定が正しく設定されているか確認してください。
CDDB に接続ができない。 SD-Jukebox 起動時に接続エラーが表示される。	お使いのセキュリティソフト（ウィルスバスターやNortonなど）の設定によりCDDBからインターネットへの接続ができない場合があります。 セキュリティソフトの設定を確認してください。 詳しい情報については、〈サポートページ〉の「よくあるご質問（Q&A）」をご覧ください。 SD-Jukeboxの［ヘルプ］メニューから［サポートページへ］を選ぶと〈サポートページ〉が表示されます。また〈サポートページ〉のURLは、「最新情報について（☞4ページ）」をご覧ください。

こんなときは	ここをお調べください
起動時に 「インターネットに接続されていないのでCDDBが利用できません…」 と表示される。	• インターネットに接続できていることを確認してください。 • 常駐ソフトを全て終了してから起動してください。 • ウィルス、ネットワーク関連（ファイアウォール設定など）の常駐がCDDBアクセスをブロックしていないか確認してください。 • ［詳細設定］－［接続と音楽配信］のプロキシサーバーの設定が正しいか確認してください。
起動時に 「CDDB機能に必要なモジュールが見つかりません…」 と表示される。	• 実行に必要なモジュールが破損している可能性があります。 SD-Jukebox を再インストールしてください。 • 再インストールでも改善しない場合、Windows標準ファイルのregsvr32.exeがC:￥WINDOWS￥system32の下に存在するか確認してください。 上記場所にregsvr32.exeが存在しない場合、Windowsが破損している可能性があります。

■ CD録音、ファイル取り込み時

こんなときは	ここをお調べください
音楽CDを認識できない。	① 音楽CDがコピーコントロールCDやレーベルゲートCDなどコピー制限されたCDでないことを確認してください。 SD-Jukeboxはコピー制限のある音楽CDはご利用になれません。 ② Windows Media Player など、他の音楽再生ソフトで音楽CDの再生ができる事を確認してください。 他の音楽再生ソフトでも再生できない場合は、お使いのCD-ROMドライブのメーカーまたはパソコンメーカーに問い合わせてください。 ③ 他の音楽再生ソフトが起動している場合は、それを終了してください。 ④ レジストリを操作するツールで音楽CDの検出を禁止している場合、その設定を解除してください。
ファイル取り込み（インポート）ができない。（MP3 ファイルなど）	① 取り込みをしようとしているファイルに破損がないか確認してください。 ② 著作権保護のため、コピー制御や暗号化されたファイルおよび、未対応のファイル形式のファイルは取り込みできません。
CDDBから曲名が取れない。	• どの音楽CDでも曲名が表示されない（エラー表示もない）場合： [詳細設定] – [接続と音楽配信] でCDDB設定を確認してください –「CD録音/インポート」の「CDDBを使用する」にチェックマークが付いていることを確認してください。 –「接続と音楽配信」のプロキシサーバーの設定が正しいか確認してください。 – タイムアウト時間が長すぎたり、短すぎたりしないか確認してください。 – お使いのセキュリティソフト(ウィルスバスターやNortonなど)の設定によりCDDBからインターネットへの接続ができない場合があります。 セキュリティソフトの設定を確認してください。 詳しい情報については、〈サポートページ〉の「よくあるご質問(Q&A)」をご覧ください。 SD-Jukeboxの［ヘルプ］メニューから［サポートページへ］を選ぶと〈サポートページ〉が表示されます。 • 特定の音楽CDで曲名が取得できない（エラー表示もない）場合： – CD-Rなどの編集制作されたものは、CD情報が取得できません。 – コピーコントロールCDなどコピー制限されたCDでは曲名取得ができない場合があります。 – 市販の音楽CDであってもまれにCDDB登録されていないものがあります。 – 個人で製作した音楽CDなどはCDDBで情報取得できないことがあります。

次ページへ続く

こんなときは	ここをお調べください
ID3タグは、どのように対応していますか？	MP3 のID3 タグV1/1.1/V2.0〜V2.4 に対応しています。
SD-Audio対応のSDミニコンポで記録した曲の再生をするには？	SD-Audio対応の再生機器で記録したSDメモリーカードをSD-Jukeboxで認識されているSDスロットに挿入します。 「ブラウジング部」のSDメモリーカードドライブを選びます。 表示されている曲をクリックして再生することができます。

SDメモリーカードの認識、読み書き、再生時

こんなときは	ここをお調べください
パソコンに接続した再生機器またはSDカードリーダーライターのドライブが表示されない	パソコンのIRQ（割り込みレベル）が競合している場合があります。 ① Windows の「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックする ② 「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」をクリックする ③ 「ハードウェア」のタブをクリックする ④ 「デバイスマネージャ」をクリックし、不要なデバイスを無効にする ⑤ 再生機器またはSDカードリーダーライターを取り外し、パソコンを再起動する ⑥ 再生機器またはSDカードリーダーライターを接続する
SDメモリーカードがSD-Jukeboxで認識できない。	• SD-Jukeboxはセキュア対応（著作権保護）のSDメモリーカード用リーダーライター、カードアダプター、カードスロット（PC搭載）でなければSDメモリーカードの認識ができません。 Panasonic製以外の上記機器は著作権保護に対応していない可能性があります。お使いの機器が著作権保護に対応しているか、機器メーカーに問い合わせてください。 • WindowsのエクスプローラーではSDメモリーカードを認識するがSD-Jukeboxでは認識しない場合 お使いのリーダーライターがセキュア対応である場合、セキュア対応したドライバーソフトが正しくインストールされていない可能性があります。 ドライバーソフトの再インストールをしてください。
SD-Jukeboxのフォーマット機能で、SDメモリーカードのフォーマットができない	① SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていないことを確認してください。 ② WindowsのエクスプローラーからSDメモリーカードが認識でき、読み書きできるか確認してください。 できない場合は、「SDメモリーカードがSD-Jukeboxで認識できない。」の対処方法を確認してください。 ③ お使いの再生機器にフォーマット機能がある場合は、機器側でフォーマットした後、再度SD-Jukeboxでフォーマットをしてください。 ④ 複数のSDメモリーカードをお持ちの場合は、カードを差し替えてください。 カードによってフォーマットできない場合は、そのカードの不具合の可能性があります。ご購入の販売店に相談してください。

次ページへ続く

こんなときは	ここをお調べください
SDメモリーカードに記録されたファイルの再生中に音飛び、音途切れが発生する。	• パソコンのCPUのパワーが不足している可能性があります。 常駐ソフトや他のソフトウェアを同時に起動している場合、それらを終了してください。 • ハードディスクの最適化（デフラグ）を実行してください。 症状が改善される場合があります。 • Windows Media Playerなど、他の音楽再生ソフトでも同様の症状が発生する場合は、お使いのCD-ROM ドライブのメーカーまたはパソコンメーカーに問い合わせてください。。
SDメモリーカード内の曲が削除できない。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていると削除できません。「LOCK」を解除してください。
SDメモリーカードへの曲の書き込み（チェックイン、チェックアウト）ができない。	• チェックイン、チェックアウトができない －SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていないことを確認してください。 －マルチメディアカード（形状はSDメモリーカードと大変よく似ています）はお使いになれません。 －SD-JukeboxからSDメモリーカードが認識できているか確認してください。 ※ 認識していない場合、「SDメモリーカードがSD-Jukeboxで認識できない。」を確認してください。 • チェックインできない －チェックアウトした以外のパソコンへのチェックインはできません。 ※ ソフトバンク（Vodafone、J-PHONE）の携帯電話で録音した曲は、機種によっては移動禁止録音されているため、パソコンに移動できない場合があります。
携帯電話でminiSDカードに書き込んだ曲の再生ができない。	• 携帯電話がSD-Audio規格の音楽再生に対応した機種であることを確認してください。 • SD-Jukeboxで録音した曲であることを確認してください。 SD-Jukeboxを利用せずに、音楽ファイル（MP3など）をSDメモリーカードにコピーしても再生できません。 • 録音した曲のファイル形式がお使いの携帯電話に対応していることを確認してください。対応機種は、SD-Jukeboxの［ヘルプ］メニューの［SDオーディオ対応機器一覧］で確認ができます。

■ その他・全般

こんなときは	ここをお調べください
コピーコントロールCD、レーベルゲートCD(2)について	SD-Jukeboxは、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽CDに対応しています。 コピーコントロールCD、レーベルゲートCD（2）などのコピー制限されたCDからの録音は動作保証していません。 各ディスクに関しては、各レコード会社に問い合わせてください。
ミュージックソムリエに曲が登録されない。	• 音楽CDを録音するとき（☞18ページ）や、音楽データを取り込むとき（☞31ページ）に「ミュージックソムリエに登録しない」のチェックマークが外れていないか確認してください。 • 極端に短い曲（約20秒以下）の場合、ミュージックソムリエで曲分析登録することができません。
SD-Jukeboxの動作が遅くなる または、リソース不足のメッセージが表示される	他のソフトウェアを同時に起動している場合、リソース不足や、動作が遅くなる可能性があります。 SD-Jukebox以外に起動しているソフトウェアがある場合は、終了してください。
Macintoshに対応していますか？	SD-JukeboxはMacintoshには対応していません。（Macintoshでは動作しません。） また、Virtualパソコンでの動作も保証していません。
パソコンで録音したSDメモリーカードを他のパソコンで再生や管理できますか？	再生はできますが、他のパソコンへの移動や管理はできません。

用語の説明

AAC・・・・・・・・・・・・・・・・「Advanced Audio Coding」の略でMPEG-2またはMPEG-4で採用されているオーディオ圧縮方式の１つ。この方式により、高圧縮率でしかも高品質の音楽再生が可能です。

CDDB ・・・・・・・・・・・・・・CDのアーティスト名やアルバムタイトルなどの情報を米Gracenote社のデータベースよりダウンロードするサービスです。

CD TEXT ・・・・・・・・・・音楽用のCDに曲名などの文字情報を記録する規格。

MP3・・・・・・・・・・・・・・・・「MPEG1 AUDIO Layer3」の略でMPEG1に採用されているオーディオ圧縮方式の１つ。MPEG1 AUDIOには、Layer1、Layer2、Layer3の3つの方式が規格化されており、Layer3の圧縮率が最も高く、インターネットなどで使われています。
MPEGは「Moving Picture Experts Group」の略でマルチメディア圧縮符号化を行っている組織が作成した標準規格です。

SDメモリーカード ・・著作権保護機能を内蔵したメモリーカード。

WMA ・・・・・・・・・・・・・・WMAは「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationで開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

- 本製品、およびパソコンの不具合により、録音ができない場合や音楽データが破損した場合などのデータの補償についてはご容赦ください。
- 本製品、および本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書では、OSがWindows XP(Home Edition)のときの操作例を使って説明しています。また、本書のイラストや画面は実際と異なる場合があります。

- SDHCロゴは商標です。
- miniSDロゴは商標です。

- microSDロゴは商標です。

- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、Pentium および Celeron はIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- 音楽認識技術と音楽関連データはGracenote®とGracenote CDDB®音楽認識サービスによるものです。
  Gracenoteは音楽認識技術と音楽付帯情報配信における業界標準です。詳細はwww.gracenote.comまで。
  CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote.
  米国特許番号No.5,987,525、No.6,061,680、No.6,154,773、No.6,161,132、No.6,230,192、No.6,230,207、No.6,240,459、No.6,330,593、上記以外のものについては特許出願中。
  GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
  "Gracenote"、"CDDB"、"Powered by Gracenote" ロゴおよびロゴ表記はGracenoteの商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
  なお、本文中ではTM、®マークは一部明記していません。
- Licensed AAC Patents (U.S. patent numbers);

08/937,950	5,394,473	5,579,430	5,481,614	5,299,238	5,581,654
5848391	5,583,962	08/678,666	5,592,584	5,299,239	05-183,988
5,291,557	5,274,740	98/03037	5,781,888	5,299,240	5,548,574
5,451,954	5,633,981	97/02875	08/039,478	5,197,087	08/506,729
5 400 433	5 297 236	97/02874	08/211,547	5,490,170	08/576,495
5,222,189	4,914,701	98/03036	5,703,999	5,264,846	5,717,821
5,357,594	5,235,671	5,227,788	08/557,046	5,268,685	08/392,756
5 752 225	07/640,550	5,285,498	08/894,844	5,375,189	

- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation and third parties. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary and third parties.

松下電器産業株式会社

MSC0160CD_J_ZA　MS0906KH0
6.0LEc_Do_L050-060919